天塩川 資料2

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく
天塩川下流の減災に関する取組のフォローアップ

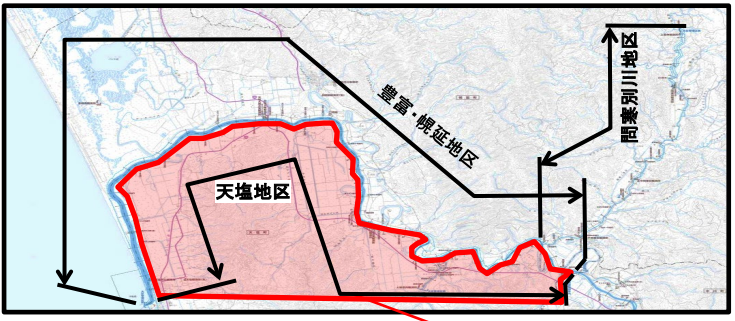
令和5年2月

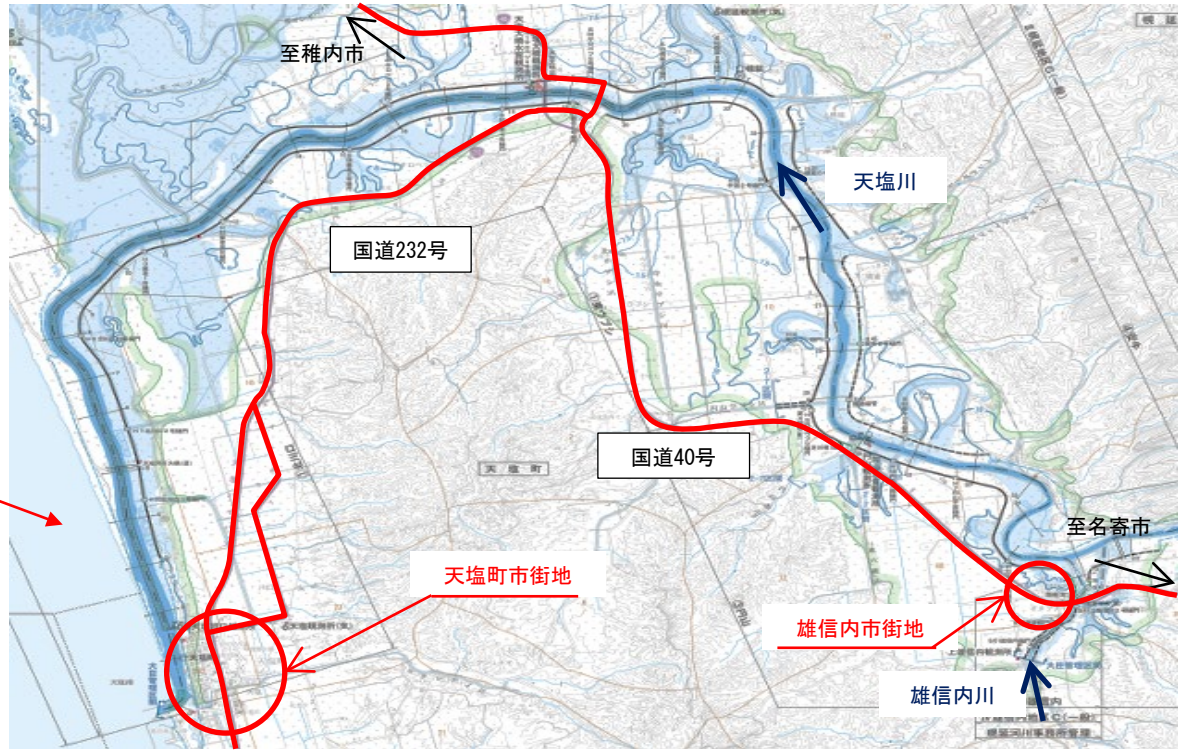
天塩川下流減災対策協議会

1. 天塩川下流の概要＜天塩地区（天塩川左岸側）＞

① 日本海側を通り札幌市への交通ルートとなる国道232号が天塩川と並走している。
② 名寄市を経由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号が並走している。
③ 天塩川の河口付近には天塩町市街地が形成されている。
④ 天塩川と雄信内川の合流点には雄信内市街地が形成されている。

＜天塩地区＞





昭和56年洪水時の浸水範囲

1. 天塩川下流の概要＜豊富・幌延地区（天塩川右岸側）＞

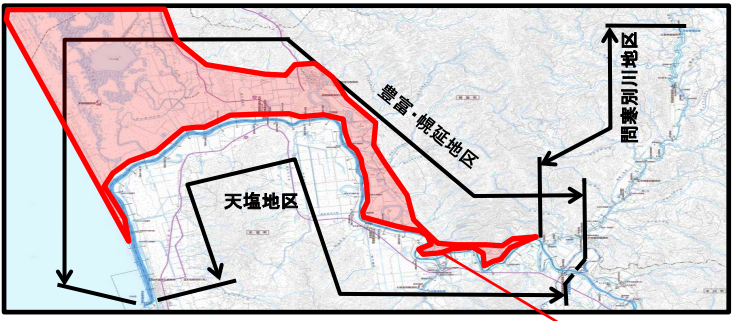
① 名寄市を経由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号、JR宗谷本線がサロベツ川と並走している。

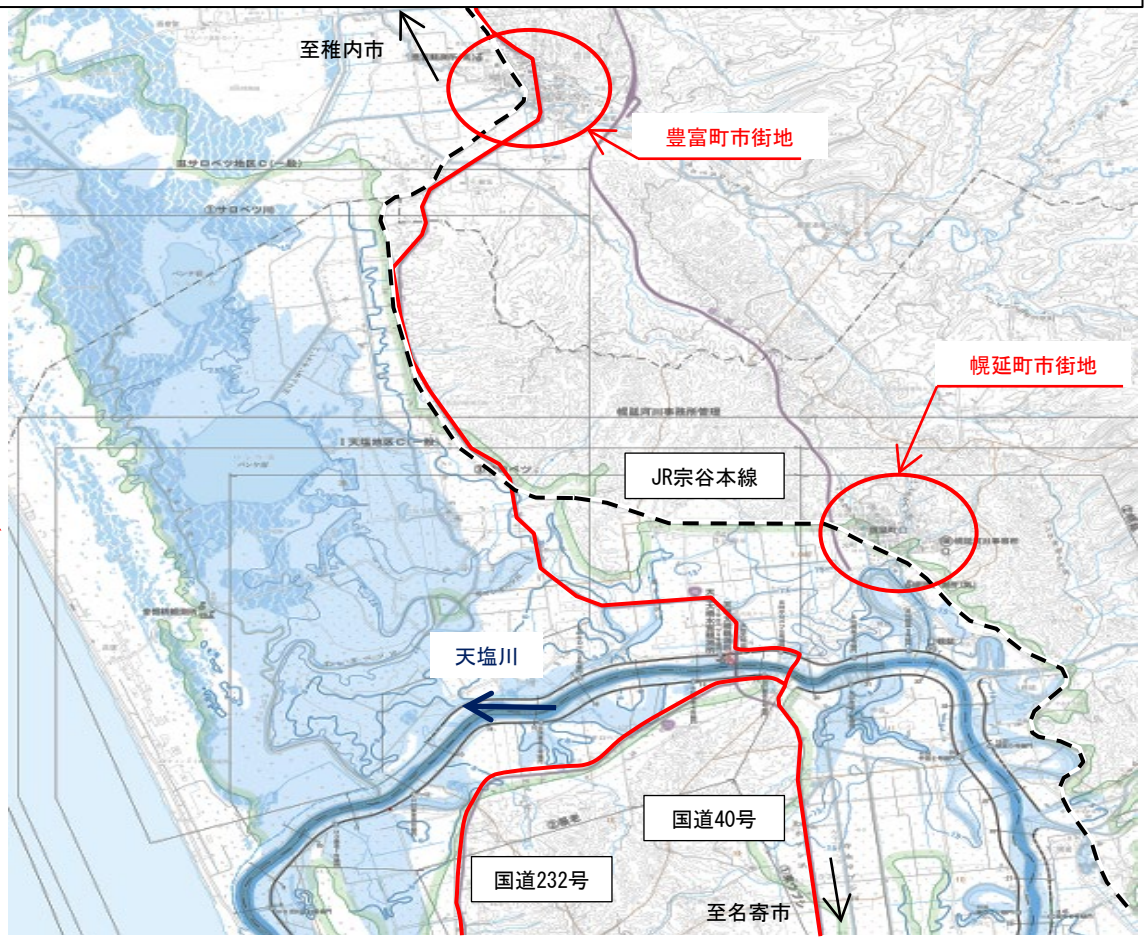
② サロベツ原野を流下することから浸水が広範囲に及ぶ。

③ 天塩川右岸には幌延町市街地が形成されている。

④ サロベツ川左岸には豊富町市街地が形成されている。

＜豊富・幌延地区＞



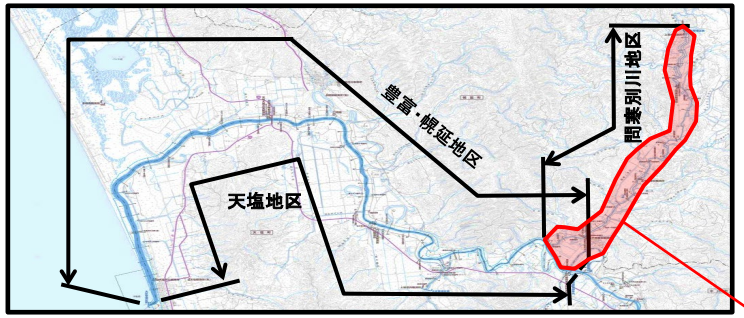


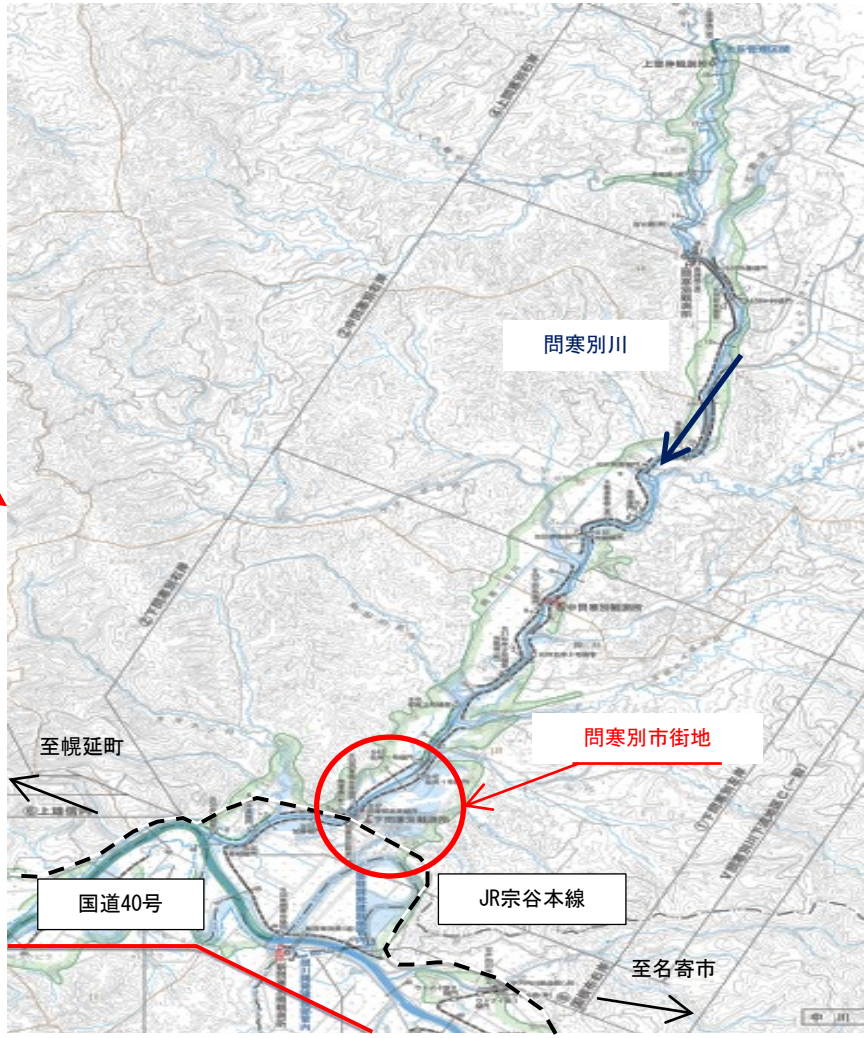
昭和56年洪水時の浸水範囲

1. 天塩川下流の概要＜問寒別川地区＞

① 名寄市を経由して旭川市、札幌市への交通ルートとなるJR宗谷本線が横断している。
② 問寒別川下流域には問寒別市街地が形成されている。

＜問寒別川地区＞

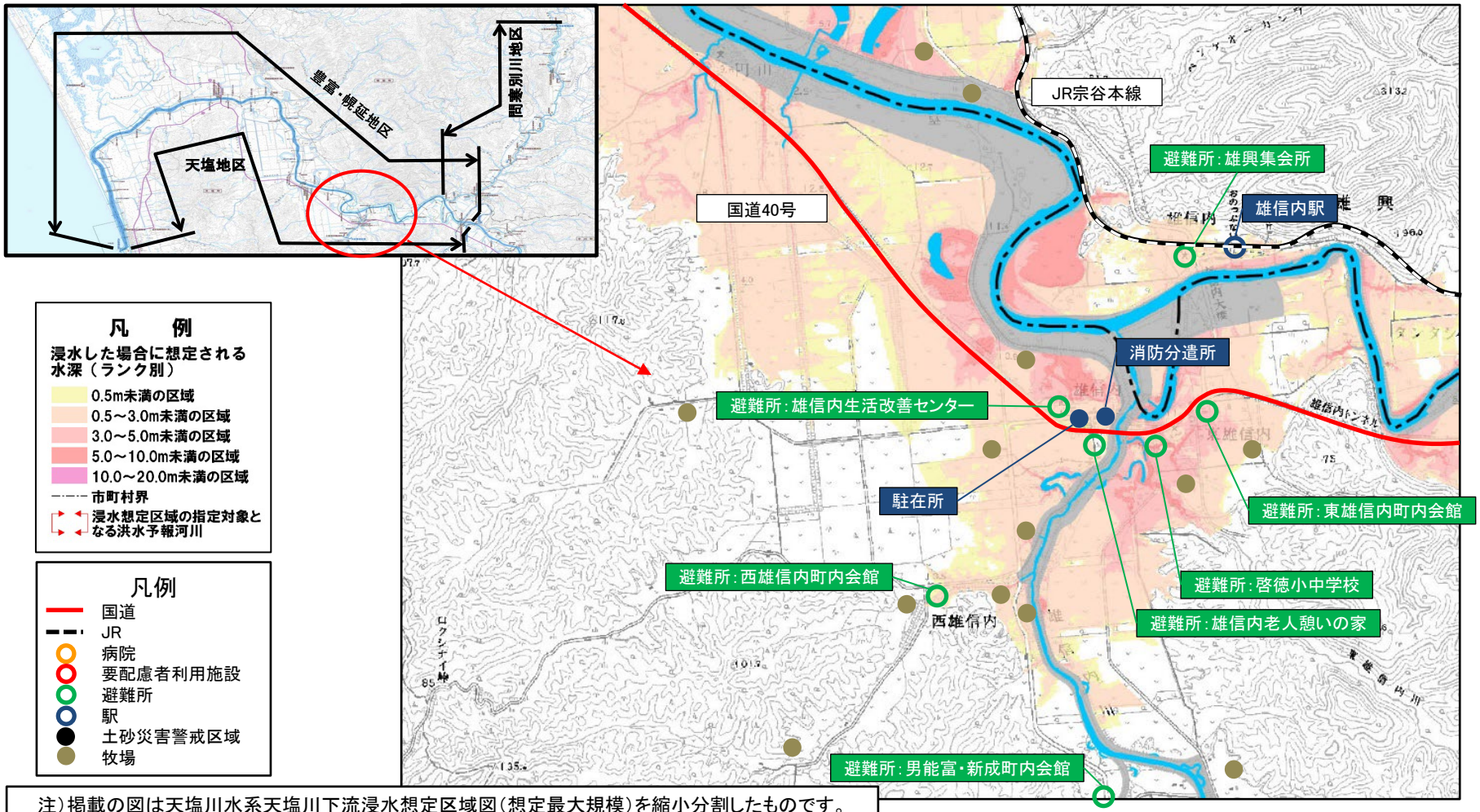




昭和56年洪水時の浸水範囲

2. 天塩川下流の主な課題＜天塩地区（天塩川左岸側）＞

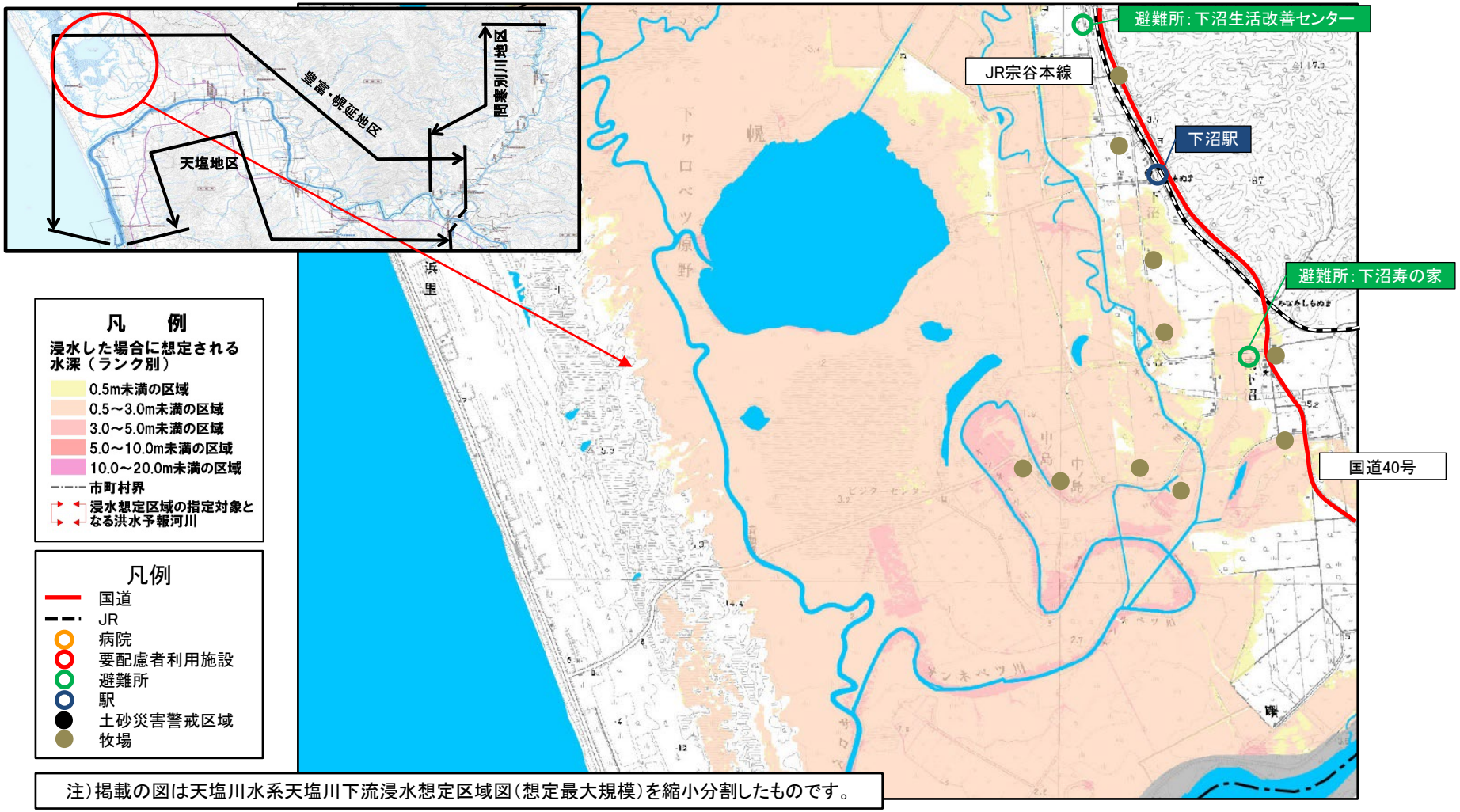
低平地では、住宅のみならず、複数の避難所等への浸水が想定され、かつ、国道40号をはじめとする避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注）掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図（想定最大規模）を縮小分割したものです。

2. 天塩川下流の主な課題＜豊富・幌延地区（天塩川右岸側）＞

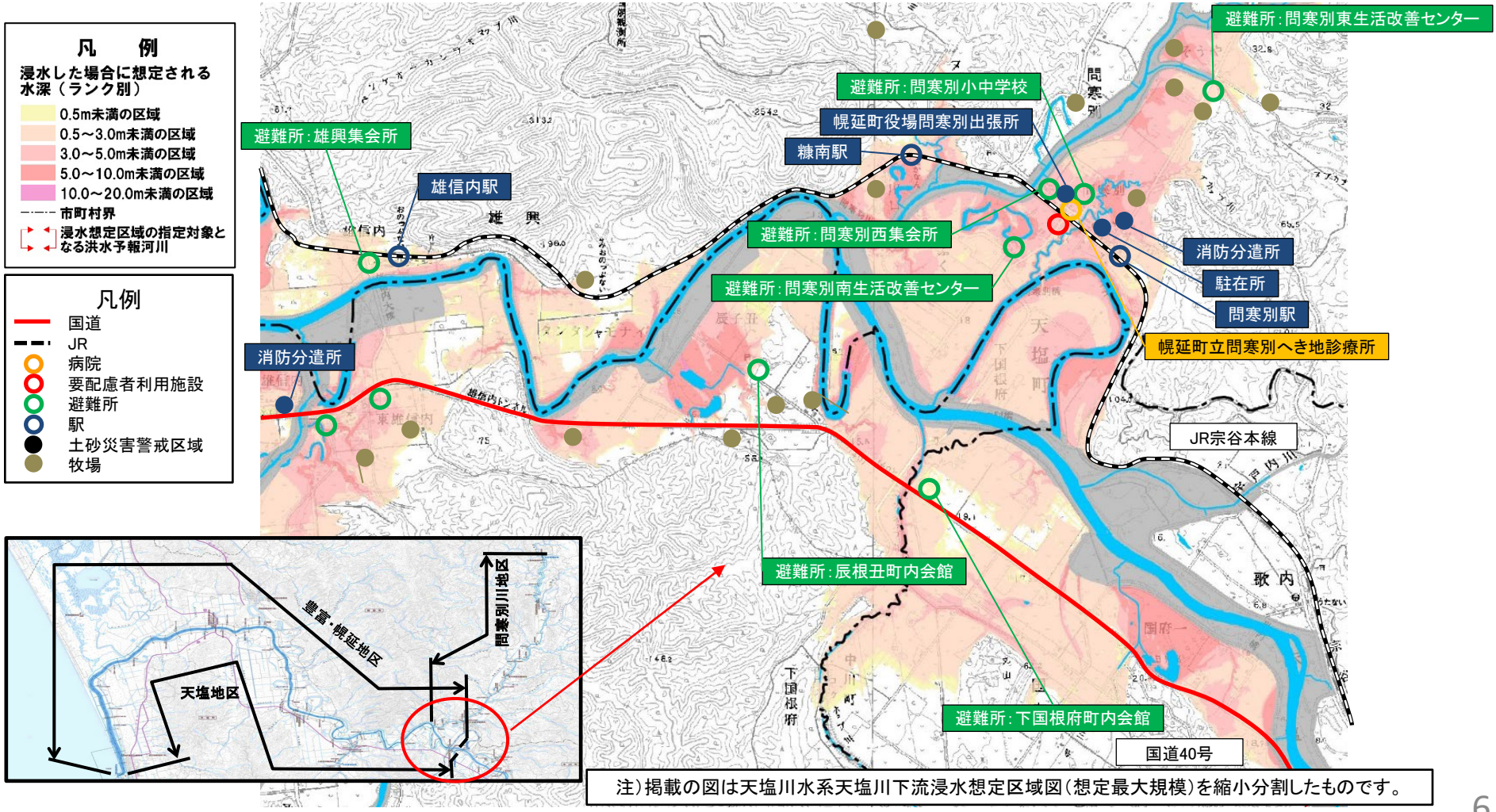
サロベツ原野が位置する低平地では、複数の避難所や町道等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定及び町・道路管理者との連携による今後整備予定の水防活動の拠点等の検討が重要となる。



注）掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図（想定最大規模）を縮小分割したものです。

2. 天塩川下流の主な課題＜問寒別川地区＞

問寒別市街地が位置する低平地では、住宅のみならず、複数の避難所や町道、要配慮者利用施設及び病院等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注）掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図（想定最大規模）を縮小分割したものです。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- 避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を気象台と共同で実施している。
- 重大災害の発生のおそれがある場合には、幌延河川事務所長、北海道から天塩町長、豊富町長、幌延町長に対して情報伝達をしている。
- 河川情報については、インターネット等を活用して入手している。
- 被災情報や避難指示などの情報については、振興局及び町役場の災対本部等より入手している。

■天塩川下流洪水予報区間

課題

A

- 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不充分であることが懸念される。

3. 現状の取組状況

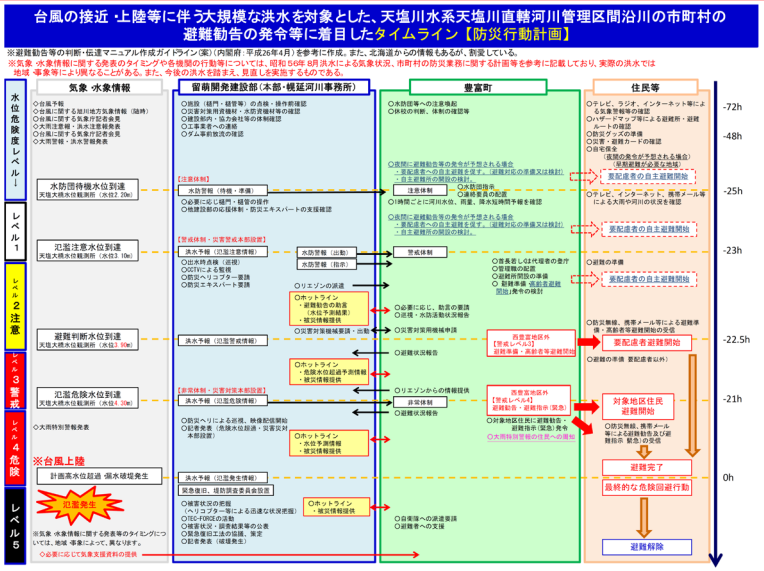
①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

・避難指示等の発令に着目したタイムラインを作成している。
・避難指示等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

天塩町の避難勧告等の発令に着目したタイムライン



課題

B

・避難指示等の発令に着目したﾀｲﾑﾗｲﾝの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難指示等の発令ﾀｲﾐﾝｸﾞ や、避難情報の伝達方法等を予め整理することが求められる。

C

・現行の地域防災計画には、水位に対応した避難指示等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、広域に分散する住民等への情報伝達の手法等が不充分であることが懸念される。

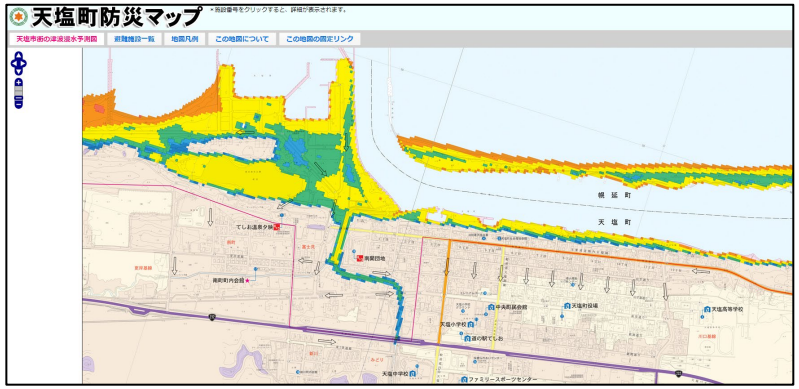
3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

・防災マップ及びＨＰにおいて避難場所・一時避難所を周知している。
・令和2年12月公表の浸水想定区域図に基づきハザードマップの見直しを行っている。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況

幌延町農業協同組合問寒別支所

課題

D
・浸水想定区域図等に記載された浸水深等の情報がリスクとして住民に理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

E
・避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F
・酪農施設等による広域分散型の土地利用が形成されている箇所では、浸水深の深い区域において避難が困難になることが懸念される。

G
・長時間・広範囲の国道・道道の浸水により、住民の避難や災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

・河川水位、洪水予報等の情報をＨＰやテレビを通じて伝達している。
・避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車、農協のFAX・エリアメール等により情報伝達をしている。
・消防計画や地域防災計画等に基づき、避難指示又は避難指示の住民への情報伝達を支援している。

・避難誘導は、地域防災計画において町職員、消防団等が実施するよう設定されている。

課題

H

・高気密性住宅が多いことに加え、風雨等の騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

I

・文字・水位情報ではわかりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。住民が広範囲に分散することや高齢化等から、伝えたい情報が一部の住民に確実に伝わっていないことが懸念される。（天塩町、豊富町、幌延町の高齢化率は３割）

J

・地域防災計画には、町職員、消防団等が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

3. 現状の取組状況

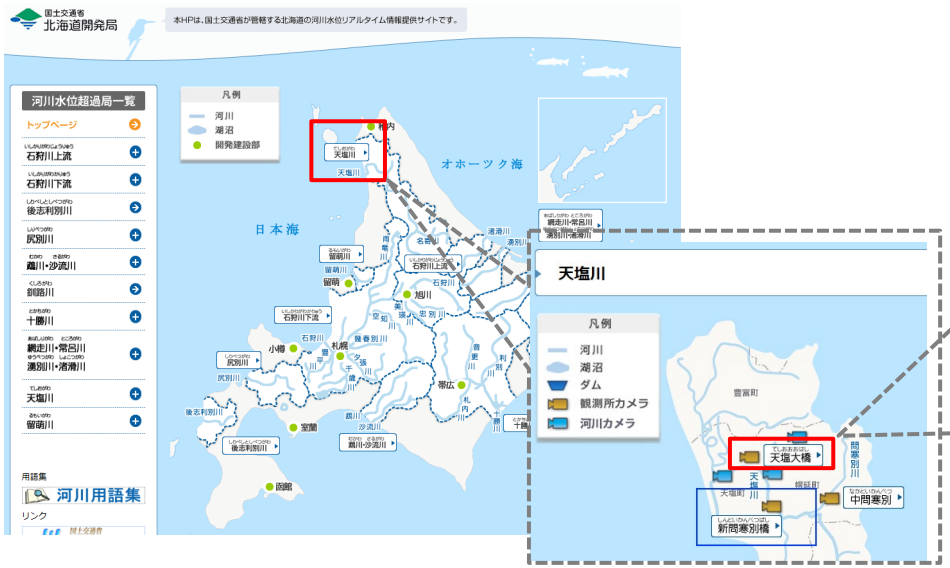
②水防に関する事項

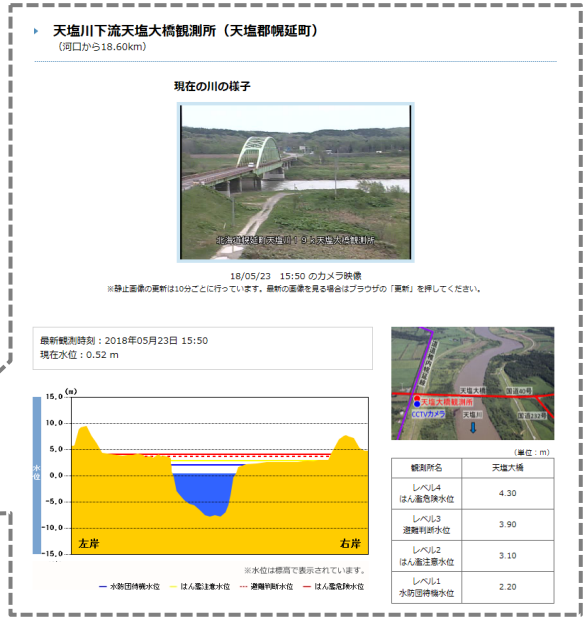
『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

・河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をＨＰやテレビを通じて伝達している。
・基準観測所の水位に応じて水防警報を発表している。

国土交通省北海道開発局
河川リアルタイム情報





課題

K

・河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不充分である。

3. 現状の取組状況

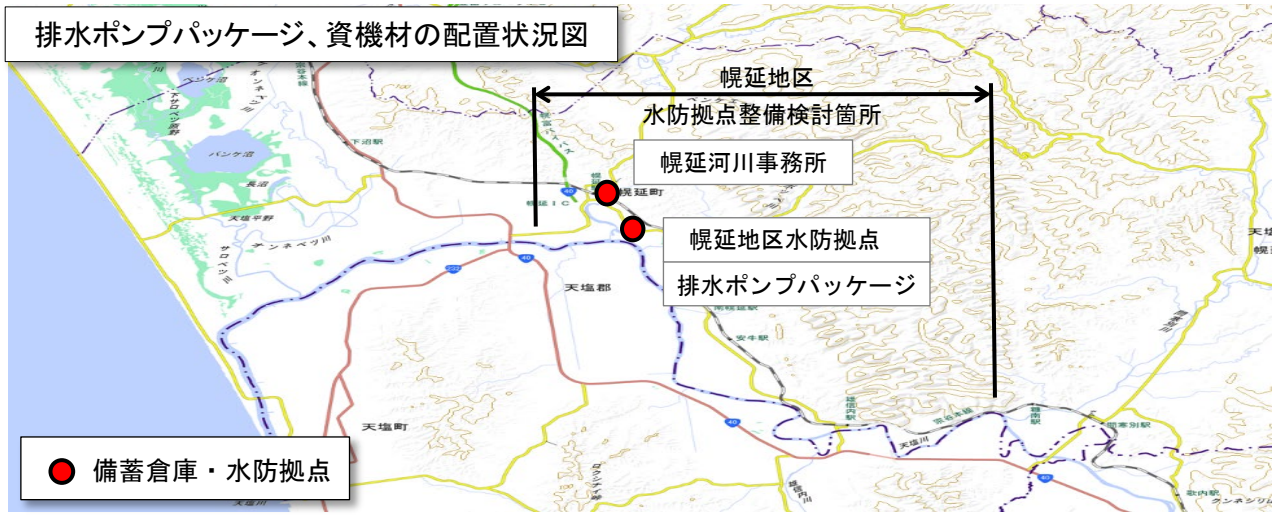
②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

・平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所の合同巡視を実施し、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。
・地域防災計画に基づき、出水時には水害の危険性の高い地域への巡視を実施。
・水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。

排水ポンプパッケージ、資機材の配置状況図



課題

L

・住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とはいえない。

M

・各関係機関の水防資機材保有状況を共有し、充実を図る必要がある。

3. 現状の取組状況

②水防に関する事項
『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

・消防事務組合、建設協会等の関係機関と連携を図っている。
・関係機関と連携した水防活動の実施訓練を行っている。

2017.8.4 天塩川 共同点検

2016.09.01 関係機関及び天塩町内小学生との防災訓練

課題

N

・水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないこと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

3. 現状の取組状況

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項
『排水施設、排水資機材の操作、運用』

現状

・関係機関が連携した排水訓練を実施している。
・保有する水防資機材は非常時においては水防団等への貸し出しが可能である。

関係機関と連携した排水訓練

課題

O

・大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

P

・広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、情報の共有が不充分である。

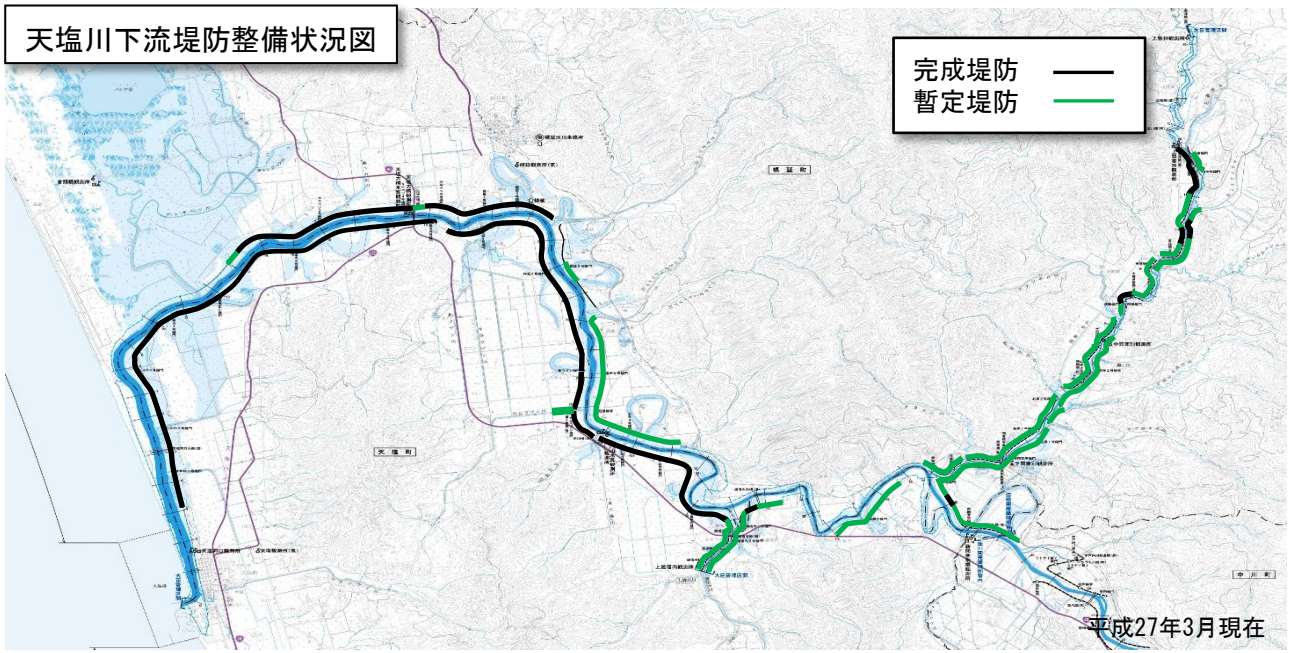
3. 現状の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項
『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

・計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、民家等が集中する地区から優先的に堤防整備を推進している。
・危機管理型ハード対策として、堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強を実施している。

天塩川下流堤防整備状況図



課題

Q

・無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。
・洪水の越水や河岸の浸食により、堤防が決壊するおそれがある。

4. 減災のための目標

■令和７年度までに達成すべき目標

円滑かつ迅速確実な避難や的確な水防活動の実施、及び円滑かつ迅速な氾濫水の排水等の対策を実施するため、各構成員が連携して達成すべき減災目標は以下の通りとした。

天塩川下流の大規模水害に対し
「確実な避難を目指す」、「長時間続く洪水から地域を守る」

■上記目標達成に向けた２つの取組

天塩川下流において、水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

１. 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

２. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

5. 概ね5年で実施する取組

1）ハード対策の主な取組

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策　■危機管理型ハード対策　■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2）ソフト対策の主な取組

①広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映
- 町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
- タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- 住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる
- 各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- 農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、また高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- 分かりやすい洪水予報伝文への改良
- 気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善
- 要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知
- 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
- 防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

②長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
- 迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえた、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る。
- 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- 浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応：Q

○堤防整備等（雄信内地区等）【引き続き実施：留萌開発建設部、北海道】

	留萌開発建設部	北海道
令和３年度 実施内容	○堤防整備、樹木伐開を実施	○伐木、河道掘削を実施（清明川、下エベコロベツ川、オンネベツ川）で伐木、河道掘削を実施 ○河道掘削・護岸整備等を実施
令和４年度 実施内容	○堤防整備、河道掘削を実施	○伐木、河道掘削を実施（サロベツ川、清明川、福永川、オンネベツ川、ペンケウブシ川）（宗谷総合振興局） ○雄信内川において河道掘削、ロクシナイ川において河道掘削及び伐木、護岸整備、中央ウブシ川において伐木を実施（留萌振興局）
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

堤防整備

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応：Q

・堤防整備・河道掘削等の流下能力向上対策に関し、優先的に対策が必要な区間について、対策を実施する。
・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所で、上下流バランスを確保しながら実施する。

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応：Q

北海道宗谷総合振興局の取組みについて

堆積土砂の除去や伐木を実施

・天塩川支流のサロベツ川、清明川、福永川、下エベコロベツ川、オンネベツ川において、河積阻害となっている堆積土砂の除去や伐木を計画的に実施。

下エベコロベツ川

（R4実施前）

（R4実施後）

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応：Q

北海道

令和4年に実施した取組内容(留萌振興局)

天塩川水系雄信内川において掘削工、護岸工を施工

・H22.8月降雨に伴う浸水被害の実績から、河岸浸食や断面が不足する区間において河川改修工事を実施。
・R4年度は昨年度に引き続き、河道掘削、護岸工事を実施中。

位置図

着工前
（R4.11 撮影）

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応：H I

○住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築【継続：留萌開発建設部、地方気象台】
○洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築【継続：留萌開発建設部、地方気象台】
○高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより、充実を図る。【継続：天塩町、豊富町、幌延町】

○水防拠点の整備（幌延地区）【留萌開発建設部】

課題対応：M

	留萌開発建設部	天塩町	豊富町
令和３年度 実施内容	○スマートフォン版「川の防災情報」を供用中 ○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始 ○水防拠点の整備	○防災行政無線の更新に合わせ、拡声器による情報伝達からスマホのアプリを活用した伝達手段への変更を検討	○昨年に引き続きR3年度独居高齢者対象に100台の戸別受信機を設置 ○豊富町防災メールを開設、登録制メールの拡充
令和４年度 実施内容	○スマートフォン版「川の防災情報」を供用中 ○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始 ○水防拠点の整備	○住民への防災情報等の伝達手段を防災行政無線（同報系）からスマホアプリを主体としたものへ更新 ○インターネット関連サービス会社と協定を結びプッシュ型の情報伝達手段を充実	【防災伝達手段多重化を推進】 ○Ｒ4年度、避難を最優先とする土砂災害警戒区域及び特別警戒区域等に居住する世帯を対象に戸別受信機を設置中 ○豊富町防災メール登録者の拡充
令和５年度 実施予定	○継続実施	○新情報配信システム等の運用による住民等への情報配信 ○情報伝達手段の多重化等による冗長性及び抗たん性の向上	○継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応：H I

○住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台】
○洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台】
○高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより、充実を図る。【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

○水防拠点の整備（幌延地区）【留萌開発建設部】

課題対応：M

	幌延町	地方気象台
令和３年度 実施内容	○ＩＰ告知端末機を利用し、町から各種お知らせを毎日流すことにより、情報伝達体制を強化	○気象庁ホームページの改善を図り、スマートフォンでの表示に適したものに改修（R03.02） ○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始
令和４年度 実施内容	○ＩＰ告知端末機を利用した情報伝達体制の強化を持続させる	○キキクル（危険度分布）「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合に伴い、スマートフォンでの表示を改善(R4.6) ○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始
令和５年度 実施予定	○継続実施	○必要に応じて改善

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

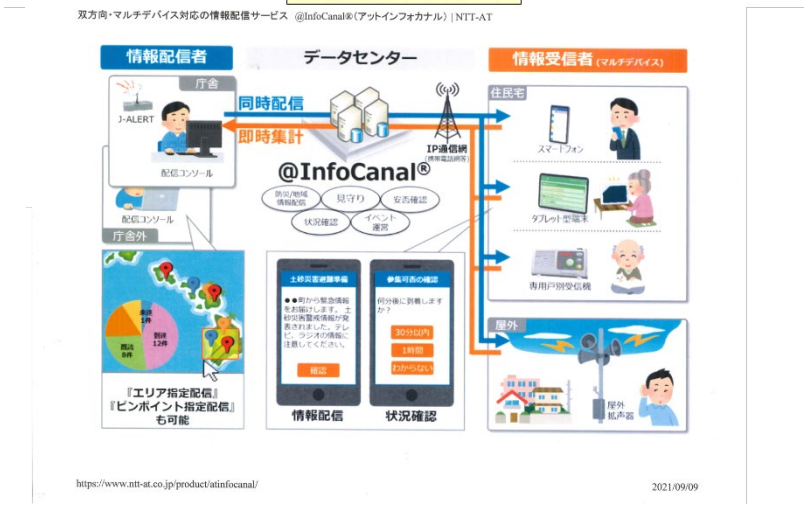
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応：H I

天塩町における取り組み

新情報配信システム

情報配信システム



携帯端末等

プッシュ型情報配信手段の充実

防災に関するお知らせ

「Yahoo!防災速報」アプリで緊急情報を配信しています。

天塩町では、ヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結し、令和4年8月1日よりYahoo!JAPANのサービス「Yahoo!防災速報」アプリ、「Yahoo!JAPAN」アプリを活用した天塩町の防災情報の配信をしています。
ご自身や家族の身の安全を守るため、災害情報等の情報収集の手段として是非ご活用下さい。

○ こんな情報が配信されます

- 災害等への注意喚起（地震・台風・クマ出没・感染症など）
- 避難に関する情報（風水害時の自主避難情報など）
- 防災訓練等に関するお知らせ

○ プッシュ通知が受け取れます

「Yahoo!防災速報」アプリでは、避難情報や緊急地震速報等の自動配信をはじめ、天塩町からの災害緊急情報をプッシュ通知（※）で受け取ることができます。
また、プッシュ通知は「Yahoo!JAPAN」アプリでも受け取ることができます。

※ プッシュ通知とは、新しいメッセージをアプリが自動表示する機能です。

「Yahoo!防災速報」アプリ
のダウンロードはこちら！
（iOS・Android共通）

「Yahoo!防災速報」アプリ
の設定ガイドはこちら！
（iOS・Android共通）

★ 主要携帯電話会社から携帯電話（ガラケー）及びスマートフォンに緊急時に配信される「緊急速報メール」も受信できるように設定を確認しておきましょう。
（設定要領等は、契約されている携帯電話会社にお問い合わせください。）

◇お問い合わせ先
天塩町役場住民課　住民安全係　☎ 01632-9-7750

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：D E F G

○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画及びハザードマップへ反映
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

○町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】

	留萌開発建設部	北海道
令和３年度 実施内容	○高規格道路の活用も含めた留萌川排水準備計画（排水作業手順書）を作成	○道道を避難の支援路として、適宜町に提供
令和４年度 実施内容	○避難経路の検討支援及び水防活動の拠点を検討	○道道を避難の支援路として、適宜町に提供
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

	天塩町	豊富町	幌延町
令和３年度 実施内容	○災害対策基本法改正に伴う地域防災計画見直しの検討 ○地域防災計画・ハザードマップの見直しにあたり、避難経路・緊急指定避難場所を再検討	○地域防災計画の継続的な見直し及び防災講話に連接した、改定したハザードマップの説明、浸水想定区域並びに避難要領の周知 ○道路管理者との避難経路や避難場所の確認	○防災ハザードマップの更新 洪水に係る浸水想定区域図の更新 町民に全戸配布済み ○地域防災計画の更新のための素案作成 ○道路管理者と連携を図り、避難経路や避難場所の確認および再検討
令和４年度 実施内容	○災害対策基本法の改正及び近年の災害発生状況・教訓等に基づく天塩町地域防災計画の見直し ○最新の洪水浸水想定区域に関するデータ等の収集、ハザードマップの見直し検討 ○防災拠点に位置付けられている「防災道の駅てしお」において関係機関等によるシナリオに基づいた防災訓練を実施(R4.10.27)	○地域防災計画の継続的な見直し及び防災講話に連接したハザードマップを活用した浸水想定区域並びに避難要領の周知 ○道路管理者との避難経路や避難場所の確認	○地域防災計画の更新に向け幌延町防災会議を開催予定（書面） ○道路管理者と連携を図り、避難経路や避難場所の確認および再検討
令和５年度 実施予定	○最新の洪水浸水想定区域、指定河川の追加等に基づくハザードマップの見直し	○継続実施	○継続実施 ○地域防災計画の更新・公開

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：D E F G

〇想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画及びハザードマップへ反映
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

〇町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】

	消防	道警	自衛隊
令和３年度 実施内容	〇道路情報を入手するため、振興局、道路管理者等との連携強化を図る	〇随時、担当者が、各関係機関防災担当者を訪問若しくは電話連絡により情報共有及び情報提供依頼等を行い、連絡体制を維持している。	〇移動困難な経路を含めた道路状況を共有、住民の避難状況、特に孤立地域等避難未実施地域の情報共有 〇道路管理者との連携及び北海道開発局『北海道地区道路情報』等により道路情報を入手 〇各自治体の定める防災計画等により、修正された避難経路・避難場所等を確認
令和４年度 実施内容	〇道路情報を入手するため、振興局、道路管理者等との連携強化を図る	〇随時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問若しくは電話連絡により情報共有及び情報提供依頼等を行い、連絡体制を維持	〇道路管理者との連携及びインターネットを活用して、北海道開発局『北海道地区道路情報』等により道路情報を入手
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇関係機関防災担当者との情報共有体制の維持	〇道路情報の収集を継続して、避難経路及び災害派遣時の経路を確保

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：D G

天塩町における取り組み

防災拠点 「防災道の駅てしお」における防災訓練（BCP検証）

開会・趣旨説明等

防災倉庫保管資機材の説明

情報発信・共有

非常用電源の設置

マンホールトイレの設置

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：C D

幌延町における取り組み

ハザードマップの更新

新たな防災ハザードマップを作成し、令和４年５月に全戸配布を行った。
掲載した浸水想定区域図は、想定しうる最大規模の降雨による川の氾濫時の浸水状況を、解析ソフト（iRIC ）を用いてシミュレーションした結果に基づいている。

防災備蓄品の拡充

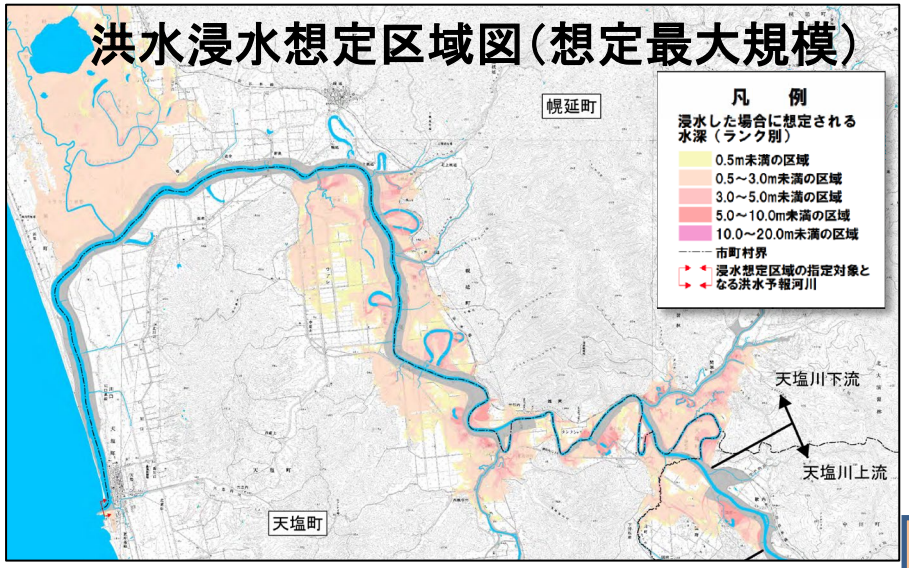
【オイルブロッター】

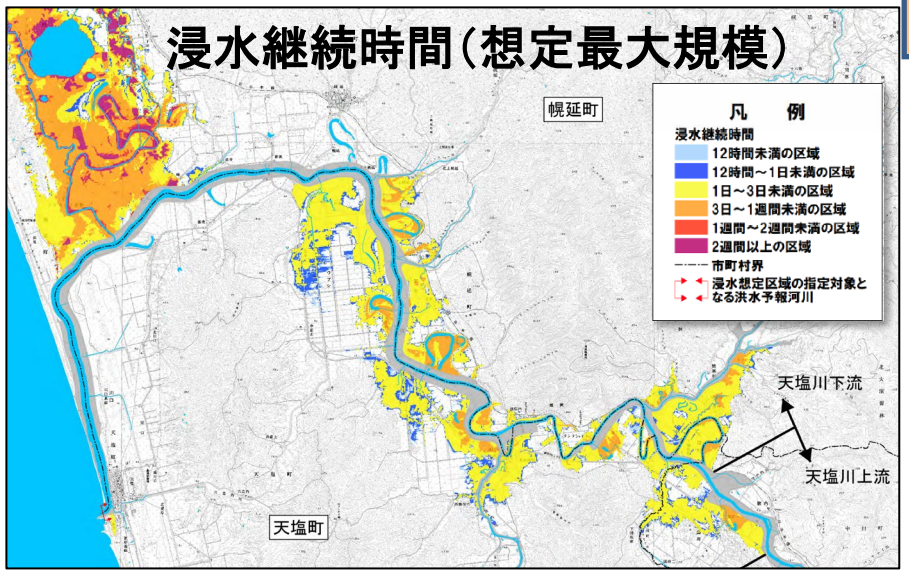
【オイルゲーター】

近年、幌延町内にて河川への油流出件数が増加していることから、今年度より油脂吸着剤のオイルブロッターやオイルゲーターを防災備蓄品として購入予定。
ホームタンク１台分（４００L）の流出にも対応できるよう、継続的な拡充を行う。

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：D E F G





- 豊富町　R元年ハザードマップを改定
- 幌延町　R3年ハザードマップを改定
- 天塩町　H29年地域防災計画、ハザードマップの改定

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：B C J

〇タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、地方気象台、自衛隊、道警、JR】

	留萌開発建設部	北海道	天塩町
令和３年度 実施内容	〇洪水予報発表訓練を実施（年７回）	〇留萌開発建設部が実施する情報伝達訓練への参加	〇留萌開発建設部が実施する情報伝達訓練への参加
令和４年度 実施内容	〇洪水予報発表訓練を実施（年７回） 〇流域タイムラインの作成 〇情報伝達訓練の実施	—	〇留萌開発建設部が実施する「情報伝達訓練」への参加（R4.6.28） 〇幌延河川事務所が実施した「堤防決壊シミュレーション（出水・地震）へ参加 〇旭川地方気象台が実施した「気象防災ワークショップ」へ参加（R4.8.3）
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇留萌開発建設部が実施する情報伝達訓練に参加	〇各種訓練・研修等への積極参加

	豊富町	幌延町	消防
令和３年度 実施内容	〇令和3年5月14日、情報伝達訓練に参加	〇情報伝達訓練に参加	〇避難訓練、水防訓練等に参加
令和４年度 実施内容	〇浸水想定に基づいた、豊富町水害タイムラインを作成中	〇タイムラインを活用した訓練への参加	〇避難訓練、水防訓練等に参加
令和５年度 実施予定	〇豊富町水害タイムラインに基づき、防災訓練（情報伝達訓練を含む）の実施	〇継続実施	〇継続実施

	地方気象台	自衛隊	道警	ＪＲ
令和３年度 実施内容	〇令和3年5月14日　大雨特別警報解除時の洪水予報発表訓練	〇関係機関が実施した訓練結果の確認	〇自治体主体の防災訓練等に参加	—
令和４年度 実施内容	〇大雨特別警報発表、警報への切替時の天塩川洪水予報（臨時）発表訓練（R4.6.14）	〇自治体主催の防災訓練等に参加	—	—
令和５年度 実施予定	〇天塩川洪水予報発表訓練	〇継続実施	〇自治体主催の防災訓練等への参加	〇自治体等が主催する防災訓練や避難訓練等に参加

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：B C C’ J

〇住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイ･タイムライン作成のサポートを充実させる
【令和3年度～令和7年度：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

〇各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	北海道	天塩町
令和３年度 実施内容	〇マイ・タイムライン作成のサポートについて検討 〇道や市町等からマイ・タイムライン作成に係る要請があった場合に支援、助言	―	〇防災担当職員のマイ・タイムライン作成に係る研修の受講 〇道計画更新による更新及び感染症対策関係の追加見直し、検討中
令和４年度 実施内容	〇町主催の防災訓練の中でマイ・タイムライン作成の講習会を実施	―	〇防災担当職員のマイ・タイムライン作成に係る研修の受講、住民への防災講話時等における紹介・推奨の実施 〇災害対策基本法の改正及び近年の災害発生状況・教訓等に基づく天塩町地域防災計画の見直し
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇町からマイ・タイムライン作成に係る要請があった場合に、必要に応じて対応	〇住民等の防災意識涵養のため継続実施 〇地域防災計画の継続的な見直し 〇最新の浸水想定区域等に基づくハザードマップの見直し

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：B C C’ J

〇住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイ･タイムライン作成のサポートを充実させる
【令和3年度～令和7年度：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

〇各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

	豊富町	幌延町
令和３年度 実施内容	〇防災講話等を活用したマイ・タイムラインの紹介、奨励 〇R3年度道地域防災計画修正における見直し中 〇職員の初動対処マニュアルの改正・検討 〇水害タイムラインの反映・検討	〇マイ・タイムラインの紹介、奨励 （防災ハザードマップにもマイ・タイムラインの照会ページを追加） 〇地域防災計画の更新のための素案作成
令和４年度 実施内容	〇防災講話等を活用したマイ・タイムライン作成要領及び実習 〇職員の初動対処マニュアルの改正・検討 〇水害タイムラインの反映・検討	〇マイ・タイムラインの紹介、奨励 （防災ハザードマップ等） 〇地域防災計画の更新に向け幌延町防災会議を開催予定（書面）
令和５年度 実施予定	〇継続実施 〇職員の初動対処マニュアル改正継続 〇地域防災計画への反映	〇継続実施 〇地域防災計画の更新・公開

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：C E F G

〇農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、また、高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
【継続実施：留萌開発建設部、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊、道警】

	留萌開発建設部	天塩町	豊富町
令和３年度 実施内容	〇必要な情報を収集し、取組機関へ情報提供	〇関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	〇農協等と連携した、広域の分散する酪農・漁業世帯・関係者への気象情報の早期発信による初動対応（減災対応）
令和４年度 実施内容	〇必要な情報を収集し、取組機関へ情報提供	〇関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	〇農協等と連携した、広域の分散する酪農・漁業世帯・関係者への気象情報の早期情報発信による初動体制の保持（減災対応）
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇継続実施	〇継続実施

	幌延町	消防	自衛隊	道警
令和３年度 実施内容	〇関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	〇自治体等が実施する避難訓練や防災訓練に支援・参加	〇関係機関が実施した訓練結果の確認	〇交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施 〇各駐在に対し、管内避難場所や氾濫しやすい河川について教養を実施 〇コロナ禍のため防災訓練未参加
令和４年度 実施内容	〇関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	〇自治体等が実施する避難訓練や防災訓練に支援・参加	〇関係機関が実施した訓練結果の確認	〇交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施 〇各駐在に対し、管内避難場所や氾濫しやすい河川について教養を実施
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇継続実施	〇自治体等が主催する防災訓練や避難訓練等に参加 〇継続実施	〇継続実施

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：A

〇分かりやすい洪水予報伝文への改良　【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台】
〇気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善　【継続実施：地方気象台】
〇要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施【令和3年度～令和7年度：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	北海道	天塩町
令和３年度 実施内容	〇H29.4より運用、警戒レベルの追記（R1.5） 〇必要な情報を収集し、取組機関へ情報提供	〇町からの避難確保計画作成や訓練実施について支援	〇該当施設の確認（該当施設なし）
令和４年度 実施内容	〇H29.4より運用、警戒レベルの追記（R1.5） 〇必要な情報を収集し、取組機関へ情報提供	〇該当施設無し 〇町からの避難確保計画作成や訓練実施について支援	〇該当施設の確認（該当施設なし）
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇継続実施	〇ハザードマップの見直しに基づき、避難確保計画作成状況等の整理・施設管理者に対し、避難確保計画の作成・避難訓練実施について呼びかけ

	豊富町	幌延町	地方気象台
令和３年度 実施内容	〇地域防災計画に定められた全ての施設において作成（定められることが必要な施設を含む）	〇地域防災計画において、要配慮者利用施設を定める準備を進める	〇H29.4より運用 〇気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示及び大雨による浸水や洪水の危険度分布を気象庁HPで公表 〇避難指示の対象とされない警戒不要な河川格子は警報の発表対象外として除外
令和４年度 実施内容	〇避難確保計画の改訂（修正内容の可否） 〇各施設ごとにおける避難訓練の実施	〇地域防災計画に要配慮者利用施設を定める。 〇施設管理者に対し、避難確保計画の作成について予定	〇指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表(R4.6) 〇線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ 〇キキクル（危険度分布）「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合 〇大雨特別警報（浸水害）の指標の改善
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇地域防災計画の更新・公開	〇必要に応じて改善

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：A D J

◆気象情報の改善　◆自治体職員を対象とした水防災に関する取組　（旭川地方気象台、稚内地方気象台）

■線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ　令和4年６月～

「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような、線状降水帯による大雨の可能性がある程度高い場合、「気象情報」で呼びかけます。

大雨と突風に関する九州北部地方（山口県を含む）気象情報　第５号
令和４年７月**１５日１０時３０分**　福岡管区気象台発表

九州北部地方では、**１５日夜から１６日午前中にかけて、線状降水帯**が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください

（雨雲レーダー）線状降水帯の例

■危険度分布（キキクル）改善

警戒レベルに配色を合わせる

色	警戒レベル
黒	5相当
紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	－

これまでの配色

色	警戒レベル
濃い紫	－
うす紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	－

■あなたのまちの予報官TV　令和3年12月～

旭川地方気象台では、市町村等を対象に住民の具体的な防災行動に結びつけるための取組の一環として、Zoomによる気象解説を週2回（1回5分程度）実施している。今年度は9月16日、18日の台風第14号接近に伴う臨時解説において、旭川開発建設部、留萌開発建設部とともに気象解説・河川情報の共有を実施した。

■気象防災ワークショップ　令和4年8月

旭川地方気象台では、市町村防災担当者等を対象とする防災対応力の向上を図る取組みとして、防災気象情報の種類や意味を理解し、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学ぶことを目的に気象防災ワークショップを開催している。今年度は旭川開発建設部の協力も得て実施した。また、消防組合の職員も参加した。

実　施　日：令和4年8月3日
場　　所：羽幌町中央公民館
参加機関：天塩町、北留萌消防組合、羽幌町
　　苫前町、初山別村、遠別町
テ　ー　マ：土砂災害・洪水害

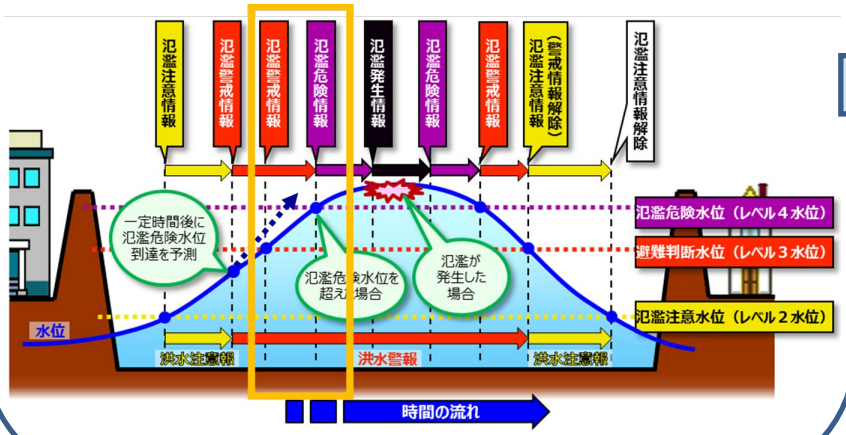
■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応：A

国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

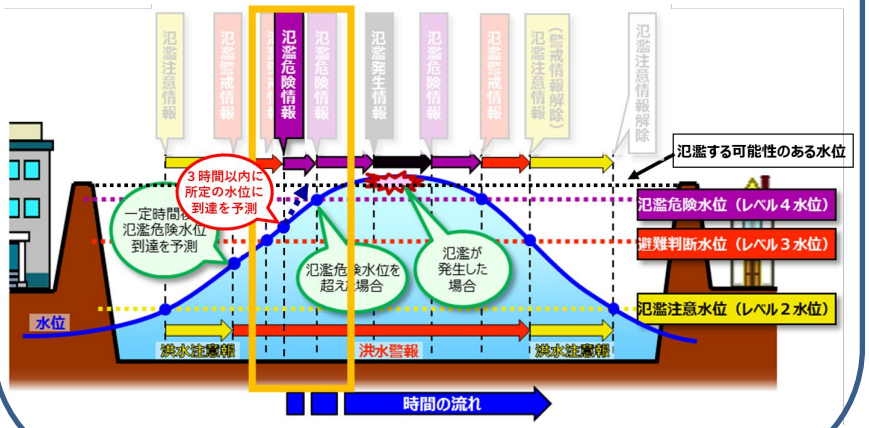
従来の運用

実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、氾濫危険情報（警戒レベル4相当；避難指示の目安）を発表



改善後

3時間先までの予測水位が、氾濫する可能性のある水位に到達した場合に、氾濫危険情報（警戒レベル4相当；避難指示の目安）を発表



氾濫危険水位の設定時に考慮した条件を上回る急激な水位上昇に対応し、**これまでの運用より早い段階から警戒を呼びかけ、避難・防災行動の時間をより長くとることが可能**になる。

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：D

〇想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図（令和2年12月公表）に基づいたハザードマップの作成と周知
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町、JR】

〇想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

	天塩町	豊富町
令和３年度 実施内容	〇小学校における防災教室でのハザードマップの説明。 ハザードマップ周知の継続 〇現時点では必要箇所に設置済み	〇広報誌や町ホームページを活用した住民周知及び地域包括センターへのハザードマップ等の掲示 〇防災講話を通じてハザードマップに掲載した浸水想定区域の説明と周知
令和４年度 実施内容	〇小学校における防災教室等でのハザードマップの説明、周知の実施 〇設置個所の確認・点検	〇広報誌や町ホームページを活用した住民周知及び社会福祉協議会との連携 〇防災講話を通じてハザードマップに掲載した浸水想定区域の説明と周知
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇継続実施

	幌延町	ＪＲ
令和３年度 実施内容	〇防災ハザードマップの更新 ・洪水に係る浸水想定区域図の更新 ・町民に全戸配布済み 〇まるごとまちごとハザードマップの作成検討	〇駅の待合室にハザードマップを掲示
令和４年度 実施内容	〇新たなハザードマップを作成し、令和4年5月に全戸配布 〇作成内容等の検討	〇駅の待合室にハザードマップを掲示
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇ハザードマップ更新に合わせた掲示物の更新

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

○小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、地方気象台、道警、自衛隊】

○関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

○防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

	留萌開発建設部	北海道
令和３年度 実施内容	○天塩小学校（9月）、幌延小学校（10月）で防災教育を実施 ○8月5日に排水ポンプ車、照明車の操作訓練を実施 ○9月1日に樋門操作人と樋門操作訓練を実施 ○浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表	○令和3年10月6日、天塩高校が実施した１日防災学校に協力 ○令和4年3月、北海道地域防災マスターが最新の防災知識を習得することにより、地域防災力のより一層の向上を図ることができるよう、「北海道地域防災マスターフォローアップ研修会」を開催 ○令和3年8月に幼児教育に関わる職員、市町村職員、市町村教育委員会の職員等を対象に、講演を実施。（宗谷教育局主催）
令和４年度 実施内容	○管内の４校で防災教育を実施 ○水防技術講習会を実施（R4.9.15） ○樋門操作人と樋門操作訓練を実施 ○浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表 ○道の駅で逃げなきゃコールの動画配信	○天塩高校が実施した1日防災学校に協力（R4.10.4） ○北海道地域防災マスターが最新の防災知識を習得することにより、地域防災力のより一層の向上を図ることができるよう、「北海道地域防災マスターフォローアップ研修会」を開催（R4.12） ○令和4年10月27日に道の駅てしおで防災訓練を実施 ○学校等で防災教育を実施する際、後方支援を実施 ○学校教職員、防災関係機関職員等を対象に１日防災学校についての研修会を実施（宗谷教育局、宗谷総合振興局共催） ○地域防災力の向上を図ることを目的とした避難所運営カードゲーム（Ｄｏはぐ）の講師養成研修会を実施予定 ○ホームページ等を活用し情報掲載
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

○小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、地方気象台、道警、自衛隊】

○関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

○防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

	天塩町	豊富町
令和３年度 実施内容	○令和3年9月15日　天塩小学校で防災教育を実施（対象：5年生） ○ＨＰや広報誌等を通じて防災情報の広報を実施	○兜沼小中学校等において災害などを想定した避難訓練を実施 ○令和3年10月27日　幌延河川事務所で水質事故訓練に参加 ○ＨＰや広報誌等を通じて防災情報の広報を継続実施
令和４年度 実施内容	○子供キャンプでの防災教育実施(R4.8.20) ○啓徳小学校での防災教育実施(R4.9.1) ○天塩小学校での防災教育実施（R4.9.20） ○留萌開発建設部が実施した水防技術講習会に参加（R4.9.15） ○留萌振興局が天塩高校で実施した「Ｄｏハグ」への参加（R4.10.4） ○住民を対象とした防災教育の実施 ○指定避難所６か所に災害用備蓄品として空気清浄機、発電機及びバルーンライトを配置するとともに、災害発生時の避難者の連絡手段として災害用公衆電話の配置を準備中 ○ＨＰや広報誌等を通じて防災情報の広報を実施 ○住民への防災情報等の伝達手段を防災行政無線（同報系）からスマホアプリを主体としたものへ更新 ○インターネット関連サービス会社と協定を結びプッシュ型の情報伝達手段を充実	○豊富小・中学校及び兜沼小・中学校における防災講話・避難訓練の実施 ○豊富小学校（小学4,5年生）を対象に防災教育を実施（R4.9.15） ○兜沼小・中学校（小学4年生～中学1年生）を対象に防災教育を実施（R4.11.29） ○幌延河川事務所で水質事故対策訓練に参加（R4.10.24） ○ＨＰや広報誌等を通じて防災情報の広報を継続実施
令和５年度 実施予定	○継続実施 ○新情報配信システム等の運用による住民等への情報配信 ○情報伝達手段の多重化等による冗長性及び抗たん性の向上	○継続実施

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

○小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、地方気象台、道警、自衛隊】

○関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

○防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

	幌延町	消防	地方気象台
令和３年度 実施内容	○令和3年10月21日　幌延小学校で防災教育を実施 ○防災意識向上のための取組みを検討 ○令和3年6月28日、幌延河川事務所と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○気象に関するコラムや水防月間等について、町広報誌に掲載して啓発。町ＨＰに関係機関のページをリンク	○自治体等が実施する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加 ○必要に応じて現状の情報伝達体制の強化	○気象庁ホームページを改修し、円滑に防災対応に生かすことができるよう周知啓発を実施（R03.02） ○「顕著な大雨に関する情報」として、線状降水帯に関する危機感を伝えるとともに、「記録的大雨情報」を災害と結びつきを強める改善を図り周知啓発を実施（R03.06） ○ＨＰを活用した気象防災の普及啓発を実施
令和４年度 実施内容	○幌延小学校を対象に1日防災学校の実施（R4.9.13） ○留萌開発建設部が実施する水防技術講習会への参加 ○防災に関する情報について、町広報誌に掲載して啓発。町ＨＰに関係機関のページをリンク	○水防技術講習会に参加（R4.9.15） ○必要に応じて現状の情報伝達体制の強化	○１日防災学校への協力等機会をとらえて実施 ○自治体職員を対象に、ZOOMを活用した気象解説を「あなたのまちの予報官TV」として週2回実施して気象状況の注意喚起を実施。（旭川地方気象台） ○土砂・洪水災害を想定したワークショップを自治体職員及び消防機関を対象に実施した。（R4.8、旭川地方気象台） ○ＨＰを活用した気象防災の普及啓発を実施
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

○小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、地方気象台、道警、自衛隊】

○関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

○防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

	自衛隊	道警	ＪＲ
令和３年度 実施内容	○水防訓練や講習会の開催結果を確認	○町内会主催の防災訓練や各種集会に参加し、講話等を実施。 ○各駐在作成のミニ広報紙により、広報を実施 ○天塩警察署ホームページで、各町の避難場所掲載ページへのリンクを引き続き掲載	－
令和４年度 実施内容	○水防訓練や講習会の開催結果を確認 ○関係機関及び関係職員等との連携を重視した防災訓練の実施	○幌延小学校における防災教室に講師として参加 ○各交番、駐在所作成のミニ広報紙により、地域住民全体に広報を実施 ○天塩警察署ホームページで、各町の避難場所掲載ページへのリンクを引き続き掲載	○災害に対する列車運行基準及び警備方法の確認および関係社員への教育（毎年） ○各駅が位置する地域のハザードマップの社内周知
令和５年度 実施予定	○各自治体等が実施する防災訓練等に参加 ○継続実施	○継続実施 ○自治体等が開催する水災害防災訓練、防災教育、講習等への参加	○継続実施

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

～説明会・訓練の実施状況～

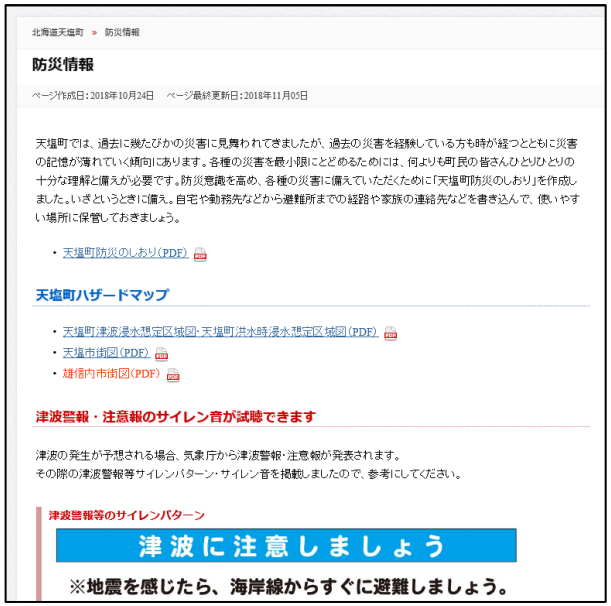
2017.5.26　要配慮者利用施設の管理者向け説明会状況

2017.6.8　豊富小学校の避難訓練

～HPを活用した広報活動～

広報とよとみ　5月号

豊富町HP　防災情報



天塩町HP　防災情報

ほろのべの窓　4月号

幌延町HP　防災情報

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

「逃げなきゃコール」の広報を展開

目　　的　：近年、毎年のように日本各地で、これまで経験したことのないような豪雨により、深刻な水害や土砂災害が発生しており、住民一人ひとりが危険性を認識し、避難行動につなげていくことが必要。その取り組みの一つとして、スマートフォンアプリやサービスによる河川情報等の配信機能を利用して、離れた家族が避難を呼びかける「逃げなきゃコール」の広報を展開するため、道の駅「てしお」に設置されているディスプレイで配信を開始。

動画配信　：令和 4年 8月～配信開始

配信箇所　：道の駅「てしお」

配信状況（令和3年9月1日～）

天塩町マスコットキャラクター「てしお仮面」
※利用申請必要（天塩町HP）

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

〇天塩町、豊富町、幌延町の小学校を対象に、洪水の映像による災害の振り返りや、洪水ハザードマップによる浸水範囲や避難場所の確認、及びマイ･タイムラインの作成などの防災教育を行いました。

町	学校	実施日
天塩町	天塩小学校	9/20
幌延町	幌延小学校	9/13
豊富町	豊富小学校	9/15
	兜沼小中学校	11/29

項目	実施内容（例）
近年の水害発生状況	かわたび　天塩川景観編《映像》 かわたび　天塩川アクティビティ編《映像》 松浦武四郎がたどった24日間の足跡 天塩川の過去の水害《映像》 天塩川流域で水害を防ぐための対策の確認 避難情報の変更について 幌延町で発表された注意報・警報 幌延町防災マップによる避難場所の確認 備えておきたい防災グッズの説明 天塩川のVR映像体験
日頃からの備え	マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ《映像》 マイ・タイムラインの作成

防災教育の実施状況

避難情報の変更について授業（兜沼小）

防災ハザードマップの確認（豊富小）

天塩川のVR映像の体験（天塩小）

マイ・タイムラインの作成（幌延小）

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

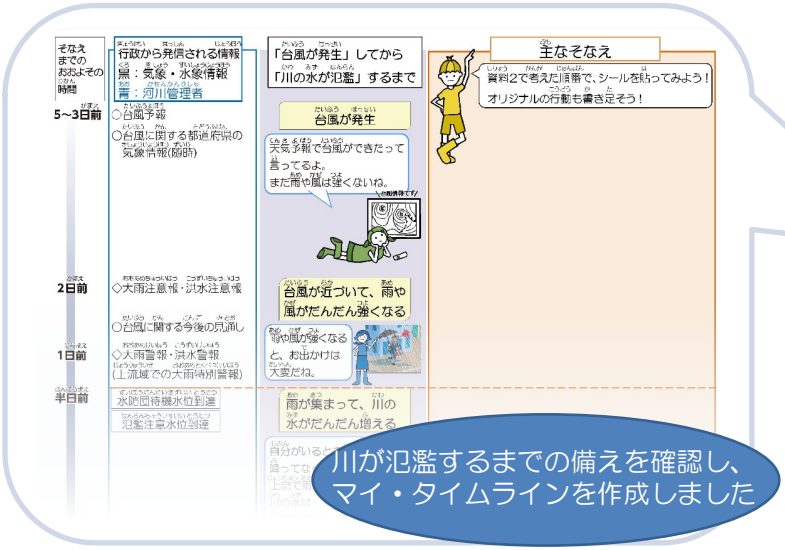
課題対応：A D F I

〇令和4年度豊富町防災訓練にて、豊富町の水害リスクや避難情報の入手方法等の講習を行ったうえで、住民の皆様ご自身の災害時の行動計画（マイ・タイムライン）を作成するワークショップを実施しました。

令和４年度 天塩川下流(豊富町)における防災訓練

実 施 日 ：令和４年10月5日（水）
実施場所：豊富町民センター
参加人数：19人

項目	実施内容
地域のリスクを知る	・地域を知る ・どこが危険かを知る
マイ・タイムラインを作る前に決める	・安全な避難先を決める ・いつ避難するかを決める ・自分の行動を決める
マイ・タイムラインを作る	・マイ・タイムラインの作成（ワークショップ）



講習会の実施状況

豊富町の水害リスクの講義

クイズ形式による避難行動の確認

マイ・タイムラインの作成（ワークショップ）

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D J

北海道

留萌振興局での取組について

北海道地域防災マスターフォローアップ研修会の開催について

＜概　　要＞

○　地域防災リーダーとしての役割等に係る講義及び最新の気象情報や防災に関する取組に係る講義を通じ、その活動に必要な知識の更なる向上を図り、地域防災力の一層の向上に資することを目的として開催。

＜開催日時等＞

○　**日　時**

令和4年12月　書面開催（DVD送付）

○　**研修会参加対象者**

留萌振興局管内在住の地域で活動可能な地域防災マスター

※令和4年（2022年）12月現在　33人

管内各市町村職員及び消防職員等

○　**実施方法**

研修会参加対象者宛研修DVDを送付、映像の視聴にて開催

○　**研修内容**

1　地域防災力の向上について

講　師　留萌振興局地域創生部地域政策課防災係長

2　災害から身を守るために役立つ気象情報

講　師　旭川地方気象台予報官

3　北海道の地震と津波

講　師　旭川地方気象台地震津波防災官

4　留萌川・天塩川下流における「流域治水プロジェクト」について

講　師　留萌開発建設部治水課流域計画官

《収録風景》

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

天塩町における取り組み

住民等を対象とした防災教育・訓練等

天塩高校Doハグ

防災教育

老人クラブ

小学校

子どもキャンプ

小学校

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

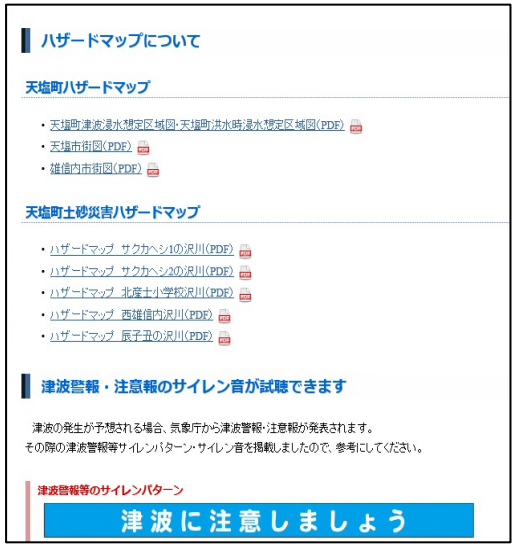
課題対応：A D F I

天塩町における取り組み

ホームページ・広報誌を活用した広報

天塩町ホームページへの
防災情報の掲載

町広報誌への「防災一口メモ」の掲載
（旭川地方気象台提供）



防災ひとくちメモ

大雨から身を守る「キキクル（危険度分布）」を改善しました

8月から9月にかけては、積乱雲や低気圧による大雨に注意や警戒が必要です。また、弱い雨が長時間続き雨量が多くなった場合も同様です。いづれの場合も、土の中に含まれる水分量が多くなることにより発生する、土石流やがけ崩れの土砂災害、河川の水位が上昇し堤防を越水することにより発生する、河川の氾濫等の気象災害が発生することがあります。

気象庁では、このような雨が降る場合には、注意報や警報などにより注意・警戒を呼びかけます。また、気象庁ホームページでは、危険度分布「**キキクル**」を提供しています。

キキクルは、警報が発表されたときや激しい雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害・洪水害の危険度が高まっているかを知ることができる命を守るための情報です。しかしながら令和3年5月に「避難情報」が変更となりましたが、**キキクル**は警戒レベル4相当「紫」のカラーコードが一致していないこと、また警戒レベル5相当に対応する「黒」の設定がなく、市町村は警戒レベル5「緊急安全確保」の発令対象区域の判断が困難でした。このため気象庁では令和4年6月30日から警戒レベル4相当を「危険（紫）」に統合、警戒レベル5相当の「災害切迫（黒）」を新設し、わかりやすく危険度を伝えることができるよう改善しました。

「災害切迫（黒）」は災害がすでに発生している可能性が高い状況ですので、これを待つことなく「危険（紫）」が出現した段階で速やかに安全な場所に避難することが極めて重要になります。

スマートフォンからも危険度を把握することができますので、**キキクル**を利用して大雨災害から身を守りましょう。

改善後のキキクル

色	警戒レベル
黒	5相当
紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	－

特別警報基準値超過(紫)黒で表示

警戒レベル4が紫と一致

これまでのキキクル

色	警戒レベル
濃い紫	－
うす紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	－

◆お問い合わせ先◆
旭川地方気象台　☎０１６６（３２）７１０２
https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html
○「キキクル」のページ：https://www.jma.go.jp/bosai/risk/
○土砂キキクル（危険度分布）：https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/
○浸水キキクル（危険度分布）：https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html
○洪水のキキクル（危険度分布）：https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A F

天塩町における取り組み

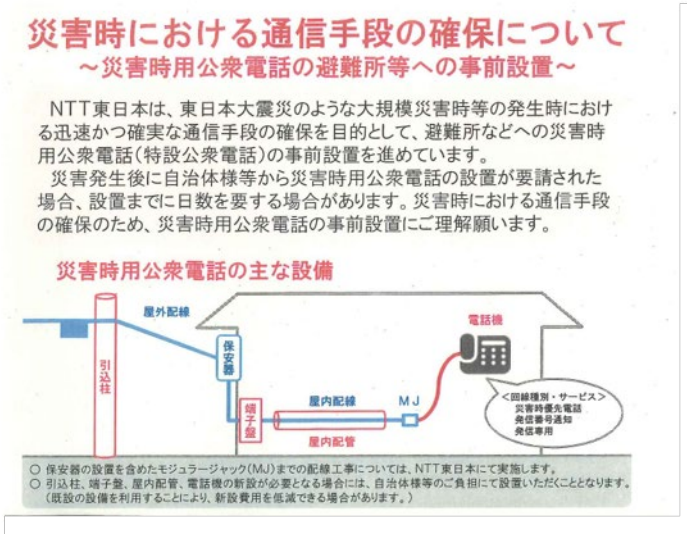
指定避難所の機能強化

災害用備蓄品の充実

バルーンライト×6、発電機×5
空気清浄機×22

整備備品イメージ

災害用公衆電話



災害時における通信手段の確保について
～災害時用公衆電話の避難所等への事前設置～

NTT東日本は、東日本大震災のような大規模災害時等の発生時における迅速かつ確実な通信手段の確保を目的として、避難所などへの災害時用公衆電話（特設公衆電話）の事前設置を進めています。
災害発生後に自治体様等から災害時用公衆電話の設置が要請された場合、設置までに日数を要する場合があります。災害時における通信手段の確保のため、災害時用公衆電話の事前設置にご理解願います。

災害時用公衆電話の主な設備

○ 保安器の設置を含めたモジュラージャック（MJ）までの配線工事については、NTT東日本にて実施します。
○ 引込柱、端子盤、屋内配管、電話機の新設が必要となる場合には、自治体様等のご負担にて設置いただくこととなります。
（既設の設備を利用することにより、新設費用を低減できる場合があります。）

○メリット
1　被災地から離れた家族との緊急連絡手段
2　優先的に電話がつながる
3　災害時に無料で通話可能（発信専用）
4　停電時にも通話可能

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：A D F I

豊富町における取り組み

防災情報伝達手段の多重化

○防災情報の確実な伝達手段の取組の一環として、防災伝達手段多重化を継続・推進

○内　容

戸別受信機（独居高齢者等）の設置及びエリアメールの開設

■防災情報伝達手段の多重化　→　迅速な情報伝達・避難

全国瞬時警報システム（J－ALERT）と連動

令和4年度　豊富町防災訓練

○情報伝達訓練 → 避難訓練 → 防災啓発 一連の行動で訓練

防災行政無線
戸別受信機
防災メール
SNS等を活用

⇨

各人自宅から避難所へ避難

⇨

【防災啓発】
防災講話・避難所運営
防災備蓄品の取り扱い・使用
要領の実習・非常持ち出し品

○住民の水防意識啓発のため、広報の充実を図る

・令和4年4月から広報誌に計5回の防災情報を掲載

・豊富町HPに掲載

防災備蓄倉庫（新設）及び備蓄品の整備（ 継続 ）

○豊富町備蓄倉庫及び防災備蓄品（給水タンク・段ボールベット等）購入

防災備蓄倉庫の新設（ 3棟 ）

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：L

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施　【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応：J K N

○関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

	留萌開発建設部	北海道	天塩町
令和３年度 実施内容	○最新の情報により、重要水防箇所の見直しを行った ○6月28日（幌延町）、6月30日（天塩町）に関係機関とともに重要水防箇所の共同点検を行った ○8月5日に排水ポンプ車の現地操作訓練を実施。	○留萌開発建設部主催の共同点検に参加 ○令和3年6月30日　関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○排水ポンプ車の現地操作訓練に参加	○令和3年6月30日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施
令和４年度 実施内容	○最新の情報により、重要水防箇所の見直しを行った ○幌延町・天塩町で関係機関とともに重要水防箇所の共同点検を行った（R4.6.29）	○留萌開発建設部主催の共同点検に参加	○関係機関と合同で重要水防箇所合同巡視に参加（R4.9.15） ○留萌開発建設部が実施する水防技術講習会に参加（R4.9.15）
令和５年度 実施予定	○継続実施	○留萌開発建設部主催の共同点検に参加 ○水防訓練や講習会に参加	○継続実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：L

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施　【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応：J K N

○関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

	豊富町	幌延町	消防
令和３年度 実施内容	○本町の重要水防箇所等の確認及び情報共有 ○水防技術講習会への参加 （R3はコロナのため未実施）	○令和3年6月28日、幌延河川事務所と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○水防技術講習会への参加 （R3はコロナのため未実施）	○関係機関と合同で重要水防箇所に係る情報を確認 ○水防技術講習会への参加 （R3はコロナのため未実施）
令和４年度 実施内容	○本町の重要水防箇所等の確認及び情報共有 ○水防技術講習会へ参加（R4.9.15）	○幌延河川事務所と合同で重要水防箇所の点検を実施（R4.6.29） ○留萌開発建設部が実施する水防技術講習会への参加	○関係機関と合同で天塩川下流の重要水防箇所合同巡視に参加 ○水防技術講習会に参加（R4.9.15）
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：L

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施　【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応：J K N

○関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

	地方気象台	自衛隊	道警	ＪＲ
令和３年度 実施内容	○水防技術講習会への参加（R3はコロナのため未実施）	○留萌開発建設部等の実施する、重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認 ○各自治体等が実施する防災訓練等に参加	○災害危険個所の見直しを含めた災害警備計画に更新、職員への周知を実施 ○水害を含む各種災害に関連した危険箇所を確認し、災害警備計画を随時更新	－
令和４年度 実施内容	－	○重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認 ○各自治体等が実施する防災訓練等に参加	○災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施 ○水災害を含む各種災害に関連した危険箇所を確認し、災害警備計画を随時更新 ○消防と合同での水害発生時の救助訓練を実施	－
令和５年度 実施予定	○水防技術講習会に参加	○継続実施	○継続実施	○重要水防箇所の共同点検への参加 ○自治体等が開催する防災訓練等に参加

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：K L O

令和４年度水防技術講習会（幌延地区）の概要

目　　的　：天塩川下流における出水に備えるため、流域管内の防災関係機関や留萌建設協会員を対象に、初動の活動で威力を発揮する伝統的水防工法の実技講習会を実施。併せて、災害対策用機械（排水ポンプ車、照明車）の紹介を行った。
実 施 日　：令和 4年 9月15日（木）
参加機関　：留萌開発建設部、留萌建設業協会（参加人数33名）
実施内容　：水防工法の実技講習、排水ポンプ車（30m^3/min）及び照明車の紹介・展示

訓練実施状況（令和４年9月15日）

水防工法（ロープワーク）

水防工法（改良積土のう工）

災対車紹介・展示

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：L

目　的：関係機関との密接な連携を図り、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行うため、台風などの出水期前に重要水防箇所・樋門ゲート改良工事箇所の合同巡視を実施し意見交換を行いました。

実施日：令和4年6月29日　幌延町、北留萌消防組合消防署、消防署幌延支署、天塩警察署、幌延河川事務所

実施日：令和4年6月29日　天塩町、北留萌消防組合消防署、消防署天塩支署、天塩警察署、幌延河川事務所

幌延町・北留萌消防合同巡視の実施状況　問寒別川　右岸1号樋門

重要水防箇所について説明・意見交換

R3工事箇所　樋門ゲート改良について説明

天塩町・北留萌消防合同巡視の実施状況　雄信内川　左岸KP0.6

重要水防箇所について説明・意見交換

重要水防箇所について説明・意見交換

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：B K L N

天塩町における取り組み

訓練・研修等への参加、防災訓練の実施

訓練・研修等への参加

【令和4年6月29日　重要水防箇所合同巡視】

【令和4年9月15日　水防技術講習会】

天塩町災害対策本部運営訓練

○実施時期：令和4年9月7日（水）

○実施場所：天塩町役場（3階　大会議室等）

○参加者等：天塩町役場、消防天塩支署、天塩町消防団、天塩警察署、陸上自衛隊第26普通科連隊、上川総合振興局、北海道庁

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：M

○迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が 不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る　【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

課題対応：N

○的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町、消防】
○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、自衛隊】

	留萌開発建設部	北海道
令和３年度 実施内容	○各種訓練等を通じ、最新の水防資機材確保状況を関係機関に情報提供した ○協議会等の場を活用し、自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○4月実施の全道振興局防災係長会議において、災害派遣要請の調整方法を確認
令和４年度 実施内容	○水防連絡協議会等を通じ、最新の水防資機材確保状況を関係機関に情報提供した ○協議会等の場を活用し、自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○4月実施の全道振興局防災係長会議において、災害派遣要請の調整方法を確認 ○自衛隊災害派遣に係る研修を開催（R4.11.15）
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：M

〇迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が 不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る　【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

課題対応：N

〇的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町、消防】
〇自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、自衛隊】

	天塩町	豊富町	幌延町
令和３年度 実施内容	〇水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 〇ポスター等で募集を継続 〇天塩川下流減災協議会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地が参加しており、情報共有を図っている。	〇水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 〇庁舎内や公共施設へリーフレット・ポスターの掲示を実施 〇自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法及びリエゾン派遣要領を確認	〇水防資機材の確保状況等の情報共有、充実化 〇水防団員（消防団員）確保に向けた協力 〇自衛隊等と情報を共有するとともに災害派遣要請に係る調整方法の確認
令和４年度 実施内容	〇水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 〇ポスター等で募集を継続 〇陸上自衛隊第２６普通科連隊と逐次に情報共有、調整を実施 〇自衛隊をはじめ関係機関等と連携し、災害対策本部運営訓練を実施（R4.9.7）	〇水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 〇庁舎内や公共施設へリーフレット・ポスターの掲示を実施 〇自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法及びリエゾン派遣要領を確認	〇水防資機材の確保状況等の情報共有、充実化 〇水防団員（消防団員）確保に向けた協力 〇自衛隊等と情報を共有するとともに災害派遣要請に係る調整方法の確認
令和５年度 実施予定	〇継続実施 〇関係機関等と連携を図りつつ、情報共有等を継続	〇継続実施	〇継続実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：M

〇迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が 不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る　【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

課題対応：N

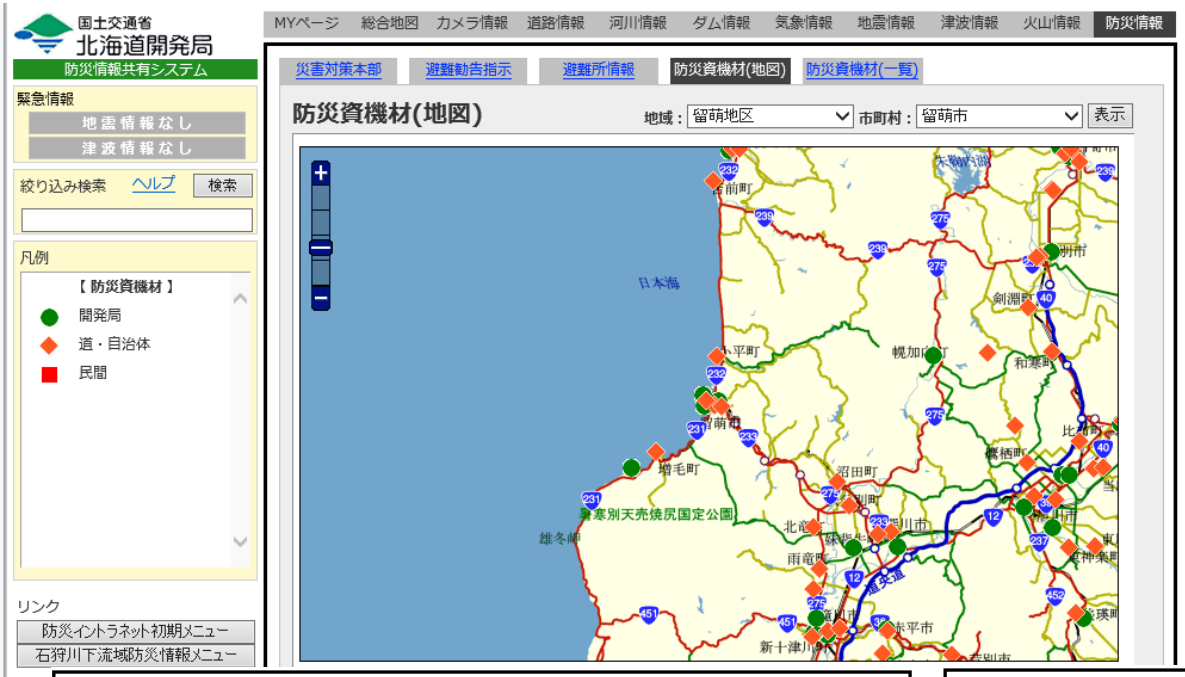
〇的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町、消防】
〇自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、自衛隊】

	消防	自衛隊
令和３年度 実施内容	〇消防で管理している水防資機材の整備や維持管理の徹底 〇消防団員入団促進のため、公共施設や各事業所に依頼してポスター掲示	〇災害派遣資機材等の充実 〇自治体との連絡体制について確認、自衛隊の災害派遣に関する調整要領等について適宜情報提供
令和４年度 実施内容	〇消防で管理している水防資機材の整備や維持管理の徹底 〇消防団員入団促進のため、公共施設や各事業所に依頼してポスター掲示	〇災害派遣資機材等の充実 〇自治体との連絡体制について確認するとともに、連絡幹部の差し出しを準備
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇自治体との連絡体制、調整要領について情報共有、意見交換 〇連絡幹部派遣を準備

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応：M

水防資機材の保有状況の共有



水防資機材の備蓄状況

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
□	ケーブル類	コードリール	３０ｍ	個	10	
□	シート類	ブルーシート	#３０００　３．６×５．４ｍ	枚	110	東雲水防詰所
□	シート類	ブルーシート	３．６ｍ×５．４ｍ	枚	100	
□	シート類	防水シート	３．６ｍ×５．４ｍ	枚	130	
□	トイレ	トイレ用テント	１人用	張	2	
□	トイレ	携帯トイレ・排便袋	排便袋	枚	2000	
□	トイレ	携帯トイレ・排便袋	携帯トイレ	個	200	
□	トイレ	簡易トイレ	トイレ用便座　洋式	台	2	
□	ボート類	エアーボート		艇	1	

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
□	ごはん・米類	アルファ米	えびピラフ２６０ｇ外	食	110	
□	ごはん・米類	レトルトパック	カレーライス外	食	120	
□	スープ・汁物	汁缶	みそ汁	食	10	みそ汁１６０ｇ
□	スープ・汁物	汁缶	スープ缶	食	20	
□	スープ・汁物	汁缶	フルーツ缶	食	34	
□	パン類	パンの缶詰	カンパン及び保存パン	食	164	
□	ポンプ機材	排水ポンプパッケージ	１０ｍ３／ｍｉｎ	セット	1	
□	保安用品	ロープ	１００ｍ	巻	1	
□	土木用資材	アンカーピン	麻袋用　φ１６ｍｍ　Ｌ＝１２０ｃｍ～１６０ｃｍ	本	2043	

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

課題対応：D E

〇浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町、消防】

	天塩町	豊富町	幌延町
令和３年度 実施内容	〇関係施設に「防災のしおり」やハザードマップを配布し、情報を共有	〇浸水想定区域内の拠点施設に対し、ハザードマップ等を通じ情報提供、浸水対策を検討	〇浸水想定区域内の拠点施設に対しハザードマップ等を通じて情報提供、耐水化の検討
令和４年度 実施内容	〇関係施設に「防災のしおり」や「ハザードマップ」配布し、情報共有を図る	〇浸水想定区域内の拠点施設に対し、ハザードマップ等を通じて浸水想定の情報提供、浸水対策を実施	〇浸水想定区域内の拠点施設に対しハザードマップ等を通じて情報提供、耐水化の検討
令和５年度 実施予定	〇継続実施	〇継続実施	〇継続実施

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応：G O P

○想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】
○訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

	留萌開発建設部	北海道
令和３年度 実施内容	○天塩川下流排水準備計画（排水作業手順書）を作成 ○令和3年7月9日に開催した留萌川下流減災対策協議会（書面開催）いおいて災害対策機会の出動要請に必要な事項を説明 ○令和3年8月5日に開催した排水ポンプ車出動訓練時に関係機関に出動要請に必要な事項を説明	○留萌開建、町からの要請があった場合に情報共有 ○留萌市防災会議で情報を共有 ○災害対策用機械操作訓練に参加し、体制について確認
令和４年度 実施内容	○天塩川下流排水準備計画（排水作業手順書）の共有 ○4月26日に開催した水防連絡協議会において、出動要請に必要な事項を説明	○留萌開建、町からの要請があった場合に情報共有 ○令和4年度留萌市防災会議で情報共有
令和５年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

2017. 08. 02　災害対策用機械操作訓練

排水ポンプ車

排水ポンプパッケージ

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

○想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】

○訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
【継続実施：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

課題対応：G O P

	天塩町	豊富町	幌延町
令和３年度 実施内容	排水ポンプ車の設置が必要な個所に係る情報（排水方法や、排水に関する要望など）を留萌開建に提供 ○災害対策用機械操作訓練において、災害対策車等の出動要請手順について確認	○水防連絡協議会に参加 ○排水ポンプ車の設置が必要な個所に係る情報（排水方法や、排水に関する要望など）を留萌開建に提供 ○災害対策用機械操作訓練において、災害対策車等の出動要請手順について確認	○重要水防箇所等の共同点検の場などを活用し、既設排水系統等や、排水ポンプ車設置箇所等の情報を入手 ○災害対策車等の出動要請手順について確認
令和４年度 実施内容	排水ポンプ車の設置が必要な個所に係る情報（排水方法や、排水に関する要望など）を留萌開建に提供 ○水防に係る協議会等への参加 ○留萌開発建設部の実施する水防技術講習会への参加	○排水ポンプ車の設置が必要な箇所に係る情報（排水方法や、排水に関する要望など）を留萌開建に提供 ○災害対策用機械操作訓練において、災害対策車等の出動要請手順について確認	○重要水防箇所等の共同点検の場などを活用し、既設排水系統等や、排水ポンプ車設置箇所等の情報を入手 ○水防連絡協議会（Web会議）等に出席し、体制を確認
令和５年度 実施予定	○継続実施 ○各種機会を活用した関係機関等との連携、情報共有等の継続	○継続実施 ○取組みの情報共有、実効性の再検討	○継続実施

	消防	自衛隊	道警
令和３年度 実施内容	○排水ポンプ車の設置が必要な個所に係る情報（排水方法や、排水に関する要望など）を留萌開建に提供 ○災害対策用機械操作訓練において、災害対策車等の出動要請手順について確認	○水防連絡協議会に参加 ○排水ポンプ車の設置が必要な個所に係る情報（排水方法や、排水に関する要望など）を留萌開建に提供 ○災害対策用機械操作訓練において、災害対策車等の出動要請手順について確認	○重要水防箇所等の共同点検の場などを活用し、既設排水系統等や、排水ポンプ車設置箇所等の情報を入手 ○災害対策車等の出動要請手順について確認
令和４年度 実施内容	○消防ポンプ等の資機材搬送ルート等確認 ○水防連絡協議会に参加	○各自治体等の作成した排水計画を確認	○関係機関防災担当者との情報共有や連絡体制の確立
令和５年度 実施予定	○継続実施 ○関係機関と連携し、訓練等に参加する	○継続実施	○継続実施

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応：G O P

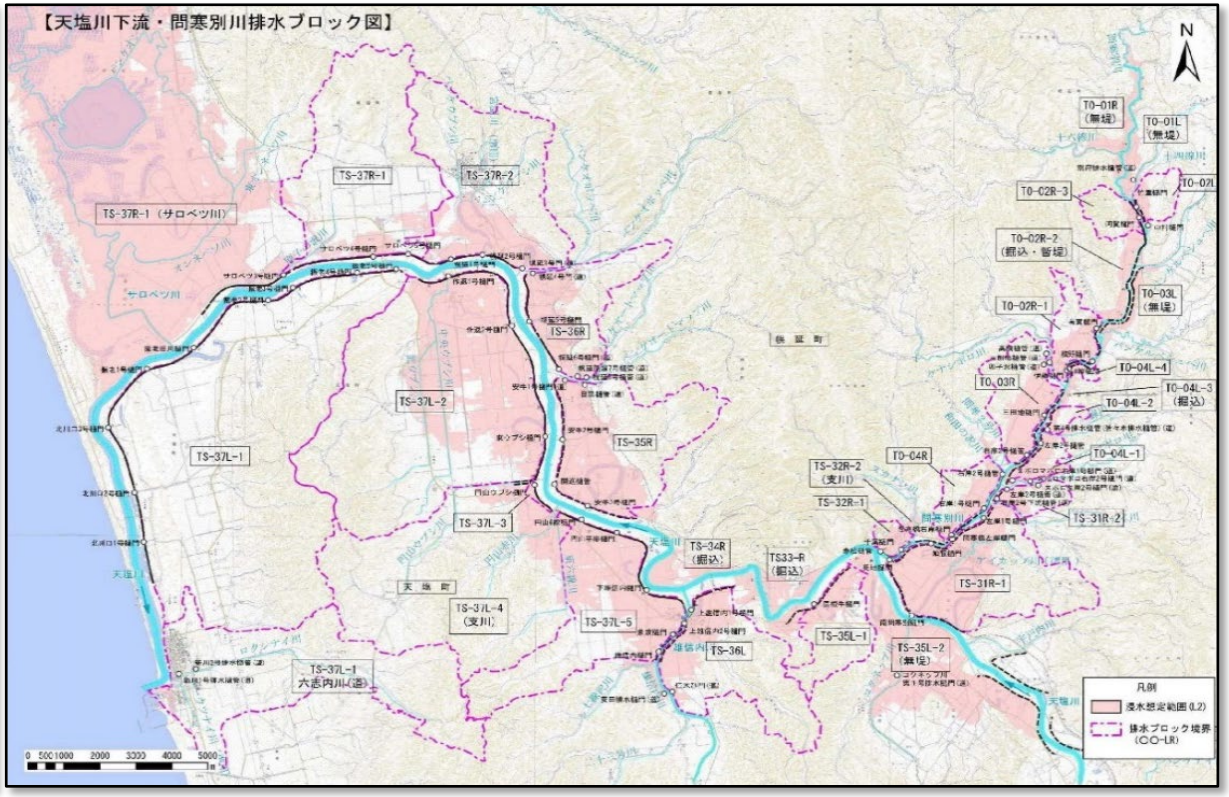
○大規模氾濫減災協議会の取り組み方針並びに緊急行動計画に基づき、「令和2年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成」するものとする。なお、ここで言うところの『排水計画』は、排水作業の準備にかかる計画であり、今後、『排水作業準備計画』と呼称するものとする。
○『排水作業準備計画』は、実際の洪水時に、氾濫状況に応じて、排水作業の進め方を検討・決定する上で必要な基礎資料を事前に準備し整理しておくもの。国土交通大臣が行う特定緊急水防活動のための基礎資料ともなるもの。
○原則、想定最大規模降雨で検討を行うこととするが、状況に応じて、まず計画規模降雨等で検討することも可とする。
○『排水作業準備計画』は協議会等の場を通じて関係者間で共有するとともに、本資料により訓練を実施する。

天塩川下流 排水作業準備計画
ハンドブック（案）

【全体編】

令和２年３月

留萌開発建設部



減災対策協議会の今後の予定

令和5年2月　減災対策協議会

・R4年度取組内容のフォローアップ、R5年度の取組予定
・流域治水協議会と合同開催

令和5年4月　（予定）　減災対策協議会（幹事会）

・出水期前の情報共有（新年度の体制、洪水予警報の連絡、水防資機材の整備状況等）

令和5年12月（予定）　減災対策協議会（幹事会）

・R5年度取組内容のフォローアップ、R6年度の取組予定

令和6年2月（予定）　減災対策協議会

・R5年度取組内容のフォローアップ、R6年度の取組予定
・次年度以降も流域治水協議会と合同開催を予定